

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

平成31年 4月 5日

盛岡市議会議長

天 沼 久 純 様

議員氏名 宮川 寿



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により平成30年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収 入	政務活動費 ①	600,000 円	
	調査研究費	237,206 円	会派視察旅費等
支 出	研修費	12,600 円	市政調査会拠出金等
	広報費	350,194 円	広報作成・配布代金等
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	600,000 円	
	差引残余 ①-②	0 円	



様式第5号

政務活動費出納簿

【平成30年度分】

(単位：円)

年月日	内容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳											
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費			
H30.11.2	第13回全国市議会議長会研究フォーラム参加宿泊費		18,800	18,800											
H30.11.13	会派視察旅先土産代(伊達市)		94	94											
H30.11.14	会派視察旅費宿泊費(福島、宇都宮、盛岡)		42,906	42,906											
H30.11.14	会派視察タクシー代(宇都宮)		570	570											
H30.11.15	会派視察視察料(宇都宮)		500	500											
H30.11.25	CMS使用料(10月分)		16,200			16,200									
H30.12.25	CMS使用料(11月分)		16,200			16,200									
H30.12.27	議会報告ホスティング代(12月定例会)(6.5円×1.769)		12,417			12,417									
H31.1.7	議会報告郵送費(12月定例会)(82円×198、72円×142)		26,460			26,460									
H31.1.16	平成30年度市政調査会拠出金		9,000	9,000											
H31.1.23	CMS使用料(12月分)		16,200			16,200									
H31.1.29	会派視察旅費宿泊費(うるま市)		102,695	102,695											
H31.1.29	会派視察先土産代(うるま市)		402	402											
H31.1.30	会派視察高速料金(うるま市)		118	118											
H31.2.1	会派視察タクシー代(うるま市)		415	415											
H31.2.25	CMS使用料(1月分)		16,200			16,200									
H31.3.25	CMS使用料(2月分)		15,570			15,570									
経費小計				237,206	12,600	350,194									
合計額		600,000	600,000	差引残余額							0				

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
H30.6.26	68,524 円	会派行政視察旅費宿泊費（7月4日～7月6日）（札幌市、室蘭市）	
H30.7.3	321 円	会派行政視察先への土産代（札幌市、室蘭市）	参加者で按分
H30.7.4-5	1,861 円	会派行政視察現地タクシー（札幌市、千歳空港ーノーザンホースパーク）	参加者で按分
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	70,706 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.6.26
支出証拠書類の額面金額		68,524	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		68,524	円
【支払概要】			
「支出内訳 いわて花巻～新千歳航空券 28,800 円			
新千歳～札幌～室蘭JR券 5,520 円			
室蘭～宮古フェリー乗船券 14,000 円			
宿泊費 9,300 円			
貸切バス代 9,504 円			
盛岡駅前～岩手花巻空港 1,400 円			
領収書等添付欄			<input type="checkbox"/> 別紙に添付

領 収 証

No. 000017 311

宮川 寿 様

金 7 6 8 5 2 4 円

ただし、7/4 発 行政視察旅費として  
上記金額を領収いたしました。

平成30年6月26日

IGRいわて銀河鉄道株式会社

銀河鉄道観光



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.7.3
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	3218	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	10分の1	
政務活動費支出金額	321	円

【支払概要】

視察先手土産

参加議員10名で均等割 原本は千葉議員が保管

321円×10名=3,210円 端数8円は千葉議員に計上

参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、中村 一、藤澤 由蔵、後藤 百合子、宮川 寿  
櫻 裕子、浅沼 克人、千葉 伸行、田山 俊悦

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

0000-0206

2018年 7月 3日火曜日

領 収 証  
様

盛友会

¥3,218-

(消費税 ¥238)

但し、あせん代として  
老舗白沢せんべい店株式会社

盛岡市紺屋町2-16  
TEL019-622-7224



担当者



領収証No 1984

\*保管上のお願  
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.7.4~5
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	18,610	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	10分の1	
政務活動費支出金額	1,861	円

【支払概要】

タクシー借り上げ代  
 参加議員10名で均等割 原本は千葉議員が保管  
 1,861円×10名=18,610円  
 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、中村 一、藤澤 由蔵、後藤 百合子、宮川 寿  
 櫻 裕子、浅沼 克人、千葉 伸行、田山 俊悦

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---




# 領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 39号  
 2018年07月05日12:24  
 乗車料金  
**¥2950円**

上記の通り正に領収致しました。

お車のご用命は無縁配車の  
 安全・快適・親切・な

 千歳北交ハイヤー (株)

千歳市信濃1丁目9-14


☎ 0123-23-4141

# 領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 7号  
 2018年07月05日12:15  
 乗車料金  
**¥2950円**

上記の通り正に領収致しました。

お車のご用命は無縁配車の  
 安全・快適・親切・な

 千歳北交ハイヤー (株)

千歳市信濃1丁目9-14


☎ 0123-23-4141

# 領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 34号  
 2018年07月05日12:15  
 乗車料金  
**¥2950円**

上記の通り正に領収致しました。

お車のご用命は無縁配車の  
 安全・快適・親切・な

 千歳北交ハイヤー (株)

千歳市信濃1丁目9-14


☎ 0123-23-4141

# 領 収 証

No. 0335

日付 2018年07月05日  
 車番 000106 0000  
 基本運賃 ¥3,200円  
**合計 ¥3,200円**

上記の様に領収致しました

 ゆたか交通株式会社  
 千歳市信濃1丁目10番12号

・お忘れ物、お気付きの点は……


☎ (0123) 23-9111

ご乗車ありがとうございました。  
 又のご利用をお待ち申し上げます。

# 領 収 書

2018年07月05日  
 車両番号 0131  
 運賃 ¥3280円

**合計 ¥3280円**  
**立替 円**

 ちとせ交通株式会社  
 千歳支店

千歳市末広1丁目4番8号

☎ 0123-23-3121

ご乗車ありがとうございました。  
 又のご利用をお待ち申し上げます。

# 領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 ドア番号 107号  
 2018年07月05日  
 乗車料金  
**¥3280円**

上記の通り正に領収致しました。

道央交通 (株)

千歳市里美2丁目17-

TEL 28-5566

視 察 等 概 要 書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実 施 日	平成30年7月4日(水)
参 加 者	浅沼克人、遠藤政幸、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、 中村一、藤澤由蔵、宮川寿
視察先および 調査項目	北海道札幌市 『笑顔をキーワードとしたシティプロモート』について
視察の概要 および所感	所感は、「視察報告」4ページから6ページに記載。
【添付資料】 有り	

## 視察報告

■日 時：2018年7月4日 13:00～15:00

■場 所：札幌市

■視察項目：シティプロモーションの推進について

シティプロモーションとは：現在、地方都市は少子高齢の進展、財政的問題、町内会や自治会への市民参画の低下などの課題を抱えています。盛岡市も例外ではありません。

このような課題に対して、地域や都市の持っている魅力を内外に発信し、ヒト・モノ・カネを呼び込んで、地域や都市を活性化させようとする取り組みとされています。

### I 札幌市の推進しているシティプロモーション

#### 1. 都市や地域の持っている特徴を知る

##### ア. 人口—国内5番目の人口を持つ街—

- ・国内5番目の人口規模を持つ街
- ・北海道の中心都市
- ・公共交通機関など充実した都市基盤



##### イ. 産業—第3次産業に特化した産業構造—

- ・「モノ」を造り、売ることによって利益を得る第2次産業は12.2%
- ・「ヒト」に対しサービスを提供することによって利益を得る第3次産業は87.7%

##### ウ. 自然—みどり豊かな都市—

- ・6割以上を森林が占める恵まれた自然と充実した都市機能が共存する街

##### エ. 雪—年間6もの雪が降る大都市—

- ・雪を生かし、1972年の冬季オリンピック開催をはじめ、2007年のノルディックスキー世界選手権札幌大会、2017年の冬季アジア札幌大会開催などで、世界的なウィンタースポーツ大会の開催都市として選ばれている。

##### オ. 季節—変化の鮮明な四季とイベント—

- ・春、夏、秋、冬に開催されている札幌ならではのイベント開催。

##### カ. 食—新鮮な食材が集まる街—

- ・食の宝庫である北海道の新鮮な食材が一大消費地である札幌に集まり「札幌グルメ」が誕生、札幌の大きな魅力の一つになっている。

##### キ. エンターテインメント—多彩な楽しみ—

- ・一年間で開催されているイベントなどの紹介。

##### ク. 郷土意識—わが街に愛着が深い市民—

- ・愛着度、札幌が「好き」「どちらかと言えば好き」が93.7%
- ・定住意向、「札幌に住み続けたい」83.0%

ケ. 外部評価—選ばれる「札幌」ブランド—

- ・過去12年間で6度も「最も魅力的な都市」に選ばれている。
- ・一方で、絶対的評価は低下傾向にある。

2. 戦略を策定する背景や過程

ア. 人口減少社会の到来

- ・札幌市の人口の将来見通しでは、50年後約50万人も減少。生産年齢人口は約半数になると予測されている。

イ. 生産年齢人口の減少により、経済規模は縮小することが懸念されている。

ウ. 観光客入込数と外国人宿泊数は、リーマンショックや東日本大震災以降増え続けている。

エ. 観光客（道外在住者）の評価

- ・札幌観光の満足度、「満足」「まあ満足」合わせると85.6%。再訪問意欲は、「ぜひ来たい」「来たい」合わせて83.3%。

オ. 有識者ヒアリング調査（平成22年度）

- ・ストレスフリーで過ごしやすく暮らしやすいイメージ。
- ・楽しいライフスタイルを持てる街。

※参加者：首都圏における集客交流・観光、マスメディア、文化芸術・クリエイティブ産業、小売、流通、不動産開発などの関係者、23名。

カ. 市内関係者による議論（平成23年度）—シティプロモート戦略会議（全5回）

- ・楽しいライフスタイルや生活文化があり、住みやすい街
- ・恵まれている素材や独自のライフスタイルの評価値を、市民が気付き世界に発信することが必要

※参加者：市内メディア、観光、スポーツ、デザイン・ファッション、地域ブランド等研修者などの関係者

以上のことから、札幌の魅力は「笑顔で楽しんでいる市民の生活そのもの＝ライフスタイルにある」とし、キーワードは「笑顔」。

- ☆美味しいものを食べて「笑顔」になろう
- ☆豊かな自然と芸術文化で「笑顔」になろう
- ☆癒しと高揚感ある観光で「笑顔」になろう
- ☆スポーツと健康でいつまでも「笑顔」でいよう
- ☆環境にやさしく未来の子供たちも「笑顔」にしよう
- ☆北海道を支え北海道を楽しんで「みんなで笑顔」になろう
- ☆都市間競争より助け合って「笑顔」を守ろう

キ. シティプロモート戦略の基本方針と重点取組分野

★3つの基本方針

- ①魅力を再発見する「札幌市民、企業、行政などが、それぞれ自分たちの街の魅

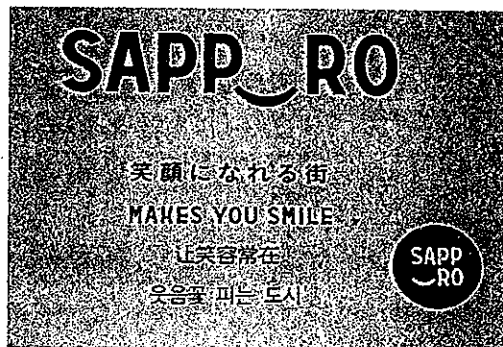
- 力を知り、愛着を深めること。
- ②魅力を味わい発信する「市民自らが街を楽しみ、魅力を発信するとともに、市民によるおもてなし力を強化すること。
  - ③魅力を創造する「創造的な活動が活発に行われることで、人々が集まり、交流が生まれる、新たな挑戦を支援する街」を目指す。

★重点取組分野

- ①MICE入力によるプロモート
- ②映画・コンテンツによるプロモート
- ③食によるプロモート
- ④滞在期間の拡大プロモート
- ⑤創造的な活動による都心活性化

ク. サッポロスマイルロゴを通じたシティプロモート

- ・「住む人も笑顔、訪れた人も笑顔になれる街さっぽろ」へ



3. 平成30年度の事業概要

ア. 魅力体験・発信イベント（市民向け）

- ・街歩き魅力体験  
札幌の魅力を知り、実体験してもらうことにより、札幌の魅力を発信する。
- ・魅力発信コンテスト  
SNSへの投稿動画などを対象とした「魅力発信コンテスト」の実施。
- ・魅力パネルの設置  
撮影場所や集客力のある場所・施設に設置し二次的な魅力の拡散を図る。

イ. パートナーズの拡充・連携（企業・団体向け）

- ・パートナーズの拡充  
商工会議所や青年会議所のほか、お土産製造販売、スーパー・百貨店などの観光と関係の深い産業へのアプローチ。
- ・パートナーズとの連携  
北海道物産展、イベント、商品・施設等での連携。

#### ウ. 市全体で「歓迎」の表明（来札者向け）

##### サッポロスマイルパートナーズ

札幌を愛する企業・団体に札幌市とともにシティプロモーションに取り組んでもらう会員組織。「笑顔のコトおこしコミュニティ」をコンセプトに、札幌への愛着の醸成、おもてなし意識の醸成、札幌の魅力の発信、サッポロスマイルマークの幅広い周知、進める事を目的としており、会員資格は札幌市内に住所を置く企業・団体、札幌市内で事業活動をする企業・団体、札幌市外で札幌市に関連する事業活動をする企業・団体とされています。

平成30年6月30日現在、507団体が加盟。バッジの着用、ポスターやステッカーの掲示をしてもらっている。

##### 主な企業・団体

【小売業】セブンイレブン・ジャパン、ローソン、札幌丸井三越、など

【ホテル】センチュリーロイヤルホテル、札幌プリンスホテル、など

【運輸・通信業】日本郵便北海道支店、北海道中央バス、など

【その他】北洋銀行、札幌ハイヤー協会、サッポロビール、など

#### 4. 課題

##### ア. ロゴマーク、コンセプトのさらなる周知

- ・ロゴマークのみならず「笑顔になれる街」というコンセプトのさらなる発信
- ・ロゴマークを通じて戦略をわかりやすく伝える。ロゴの持つ意味の単純化、先鋭化

##### イ. 「わが町さっぽろ」への愛着をより深めてもらい、「魅力発信」や「おもてなし」の実践につなげる

- ・魅力再発見、体験を通じた、シビックプライドの醸成。
- ・市民へのインナープロモーションを通じた、サッポロスマイルの想いに共感する裾野を広げていく。
- ・民間企業による魅力発信、「おもてなし」の裾野の拡充（サッポロスマイルパートナーズへの登録促進）。
- ・市民一人一人での「魅力発信」の促進。

#### II. 所感

以上が視察した際に札幌市の担当者から説明を受けた内容である。

当初、視察先が札幌市と聞き、都市規模が異なることが一つの懸念材料ではあった。確かに、オリンピックの開催をはじめ、その都市の持つネームバリューという点では違いを感じざるを得なかった。しかし、シティプロモーションに対する考えや、実際に進めている事業内容からは、都市規模の大小を越え、学ぶものがあつた。

##### 1. 盛岡の良さを知る

自分のまちを知ることなくして、内外に発信することは出来ない。当たり前のことのようにあるが、なかなか難しいことだと感じる。これは、観光戦略であったり、ブランド化を推進することにも通じる。しかし、盛岡市はどうもこれが苦手のように感じる事が多々ある。はじめて盛岡を訪れた人から「盛岡はこんなによいまちで、美味しいものも沢山あるのに、なぜもっとPRしないのか」といわれることがある。よく、自分の住んでいるまちは、日常の中にあることから良さに気付かないといわれるが、それがPR下手な要因になっていると感じる。漠然と「自分の住んでいるまちの良さを知ろう」と提起し考えるのではなく、特徴を挙げていくことによって、他のまちのと違いや良さが見えてくと感じる。

## 2. 「盛岡」に市民が自信も持つ

私は盛岡に生まれ、盛岡で育ち、盛岡のまちが大好きだ。

先述したことと関連するが、漠然と好きだけではなく、ここが好きだというように具体的にしていくことで、自信が持てるし、発信する力にもなっていく。このことは、ブランド推進の際にいつも言っている事だが、市民が美味しいと思うものでなければ、良いものだと感じるものでなければ、ブランドとしての力は弱いし、発信もできない。説明をしてくれた札幌市職員は、自信を持って説明してくれた。それだけで、そのまちに対する印象は違ってくる。

「盛岡の人は、優しく親切で良い人が多く、それが盛岡の良いところの一つだ」といわれることが多い。確かに自分もそう感じる。しかし、それが発信力の弱さやPR下手につながっているようにも感じる。盛岡市民の持っている「良さ」を残しつつ「積極性」を身に付けていくことが、盛岡の良さを知ってもらうために必要なことであると考えている。

## 3. 住みやすさの発信も必要

シティプロモーションにとって忘れてならない点の一つは住みやすさであることに気付かされた。どうしても観光的な観点からのアプローチが多いように感じられるが、まちの良さの大きな要件は「住みやすさ」である。盛岡は災害の少ないまちと言われる。住んでいる自分たちが感じるのだから間違いない。

平成30年度当初予算では、戦略プロジェクト「みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」に22億円余の予算が計上されている。限られた予算ではあるが、有効に活用し盛岡の住みよさを更に推進する必要がある。その意味では、平成30年6月定例会一般質問でも取り上げたが、中学校の完全給食実施を求めることも意味のあることと考えている。

少子高齢、人口減少という中で、交流人口を増やすことはまちの活性化に重要な役割を果たすことは、共通の認識となっている。しかし、一方において定住人口の増加を目指すことも迫及していかなければならない課題である。

## 4. 広域での取組の必要性

いろいろな課題に対して、広域で取り組むことがあるが、シティプロモーションについても同様である。それぞれのまちの持っている魅力を発信していくことは前提としてあるとしても、地域で、広域で連携した方が有効な場合がある。札幌市はニセコ町との取り組みを進めていくようである。

盛岡市も観光面について、盛岡八幡平広域観光協議会で取り組みを進めているが、もう少し多方面に拡大していくことも検討したい。特に、岩手医科大学や附属病院が矢巾町に移転する準備が進めていることを踏まえ、広域での「住みよさ」を考えて発信していく時期に来ている。交通網の整備による人の流動を生かした地域の活性化など、取り組む課題は多くあると考える。

#### 5. 民間の力を借りる

シティプロモーションを全体として企画していくのは行政の役割かもしれない。しかし、それを実現していくためには、民間の協力が不可欠である。札幌市は「サッポロスマイルパートナーズ」の取り組みをはじめ、多くの民間の方々に参加していただいている。ある民間の方から言われたことがある。「行政がまとめ役を果たしてくれればあとは民間が頑張る」と。

民間の持っている力を引き出すことが下手なのかもしれない。遠慮することなくもっと大胆に提起しても良いのではないかと考える。遠慮することは場合によっては、前に行く力を削いでしまうことになるのではないかと。議会としても、それを頭において今後の議論や提言を考えていく必要を感じている。

#### 6. 縦割りの壁を乗り越える

札幌市では、シティプロモーションの他にも観光に関するプロモーションなど、も行っている。シティプロモーションの担当は、広報局広報部広報課であるが、観光に関するプロモーションは観光を司る部署である。そこで気になったのが、よく言われる「行政の縦割り」である。それぞれが担当するプロモートはやるが他部署には関心がなく個々別々に進めるより、連携を持った方がより効果的ではなかと考えた。

説明をしてくれた担当者曰く、「協議をする場は設けられていないが、普段からお互いに情報交換は行われている」とのことであった。内容に違いはあれ、札幌市をプロモートするという共通の基盤があるからこそではないかと感じた。そのことが、札幌市が進めているシティプロモーションを有効に機能させている一因になっていると強く感じた。

盛岡市でも一つの取り組み課題が複数の部署間が関係していることがあるが、なかなか解消されていない面もある。これまでも一般質問などで改善を求めているが、具体的に提起し、指摘していくことで、部署間の壁を取り払っていった。それも今回の視察で強く感じ取れたことである。

以上



## 視察等概要書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成30年7月5日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中村一、藤澤由蔵、宮川寿
視察先および調査項目	北海道苫小牧市 ノーザンホースパーク『馬事振興・ホースセラピーなど、馬を生かした事業』について
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広大な敷地の中に馬たちが伸び伸びと過ごせる環境があることを感じた。施設や働いている人たちの姿から、如何に馬を大切にしているのか分かった。従業員全てがその目標を理解し、心一つになっている証左と感じた。どの組織にも求められることだが、簡単ではない。それが成し遂げられていることに感銘を受けた。</li> <li>・岩手、盛岡も古くから馬との関りがあり、南部曲がり屋はその象徴であろう。そうであるからこそ、もっと馬と触れ合う機会を作れる施設があってもおかしくない。しかし、日常の中にあるから逆に疎かになってしまっているのかもしれない。</li> <li>・自分たちが住んでいる盛岡の良さを見直すことが、盛岡を発信する第一歩になることを今回の視察、馴染みの深い馬に触れることを通じて感じる事が出来た。</li> <li>・子どもたちに馬と親しんでもらう機会を作れば良いのではと考える。盛岡動物公園にはそんな役割も担ってもらいたい。</li> </ul>
【添付資料】	有り

## ノーザンホースパーク：馬事文化振興について

視察日：平成30年7月5日（木）（2日目）9:30～12:00

場所：ノーザンホースパーク（苫小牧市小牧市美沢114-7）

視察内容：

- ① 馬事文化振興について
- ② ホースセラピー事業について

（はじめに）

新千歳空港駅から車で約20分、自然豊かな牧場が見渡せる広大な敷地を通り、ノーザンホースパークに到着した。

当日は残念ながら台風接近による大雨で、予定していた、パドックやきゅう舎、ひき馬などの見学は出来なかったが、馬、ポニーとのふれあい、馬の自然のテーマパークによる馬事振興、競走馬を引退した馬や高齢馬が余生を送るなか、人とのふれあい、馬とのふれあいによる癒し、ホースセラピーの魅力を感じることが出来た。

（視察）

最初に「パラッツォ・ベガ ポニー館」の展示を見学。

2階のノーザンホースミュージアムでは、馬具や馬に関する資料、実際に手に取り遊ぶことが出来るスペースもあり、馬に親しむ、馬を知り、愛情や理解を深める機会が出来るスペースであると感じた。

次に向かいの「ディアドブエナビスタ」のホースギャラリーで、社台グループの歴史、名馬たちの戦績や記念品を見学した。職員の話では、競馬が好きな方や思い入れのある社台グループが生産した馬に関わりたい方が全国から来館し、自分なりの時間を過ごしているとのことであった。

馬がもたらす私たちへの幸せ、馬に限らず、動物・生き物との調和の良さを感じ取ることが出来た。

移動できる範囲で、隣のきゅう舎を見学した。

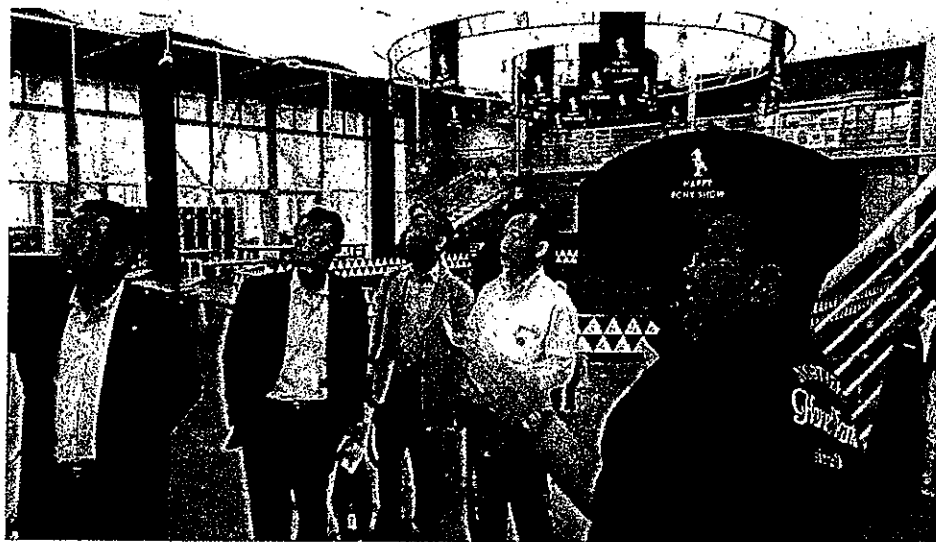
えさやりや職員のアドバイスを受けて馬の頭をなでるなど、ふれあいを持つことができた。

家族連れも来場されていて、馬とのふれあい、息遣い、気性、馬それぞれの特徴について説明を受けた。

最後にポニー館に戻り、ポニーショーを見学、見るものを笑顔にさせる、ポニーのしぐさや動きに心和ませられる時間であった。

自然を活かし、観光、馬を通じたふれあい、学び、和みを感じるノーザンホースパークであった。

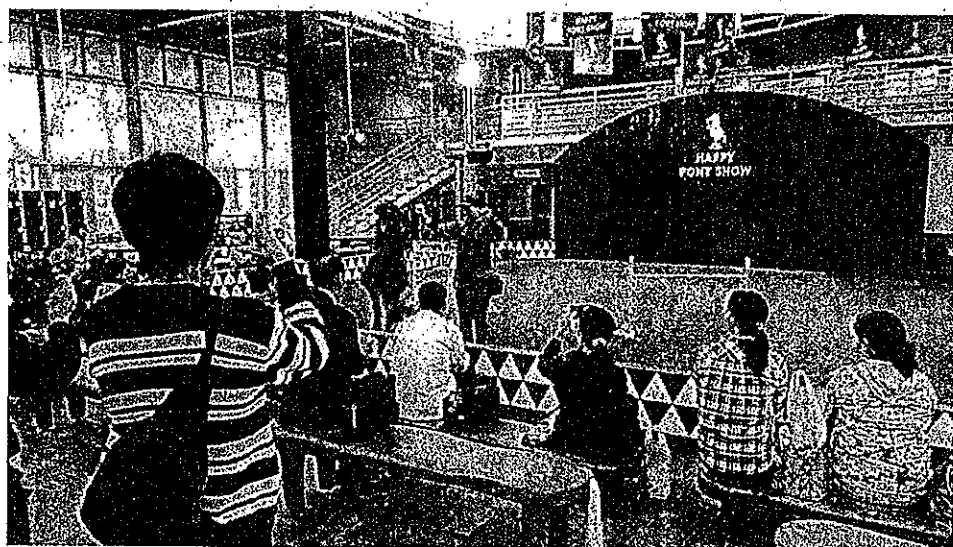
① ポニー館で説明を受ける



② きゅう舎で馬の特性を聞く



③ 人気のポニーショー



## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成30年7月5日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中村一、藤澤由蔵、宮川寿
視察先および調査項目	北海道室蘭市 『オープンデータ推進の取り組み』について
視察の概要および所感	所感は「視察報告」3ページ、4ページに記載。
【添付資料】 有り	

## 室蘭市視察報告

日 時：2018年7月5日

14:30～16:00

場 所：室蘭市

視察内容：オープンデータの取り組みについて

### 1. オープンデータとは

パソコンやインターネットの普及で、一般の企業や個人でも大量のデータ処理、多様なデータ利用ができるようになりました。

そんな中で、市が保有する大量で多様な公共データを、身近な市民サービスやビジネスに利用することが期待されています。

税金で作られた情報は市民の財産であることから、常に利用可能な状態にすべき、という考えがオープンデータの基礎となっています。

誰でも二次利用しやすい形で公開し社会が効果的に活用することで、市民との協働、新たな価値を生み出そうというのがオープンデータです。

※この説明文は、室蘭市のホームページからそのまま引用したものです。室蘭市のホームページのデータは誰でもそのままの形で利用することができます。これもオープンデータの一つです。

### 2. 官民データ活用推進基本法（平成28年12月公布・施行）

インターネットその他の高度情報通信ネットワークを通じて流通する多様かつ大量の情報（データ）を適正かつ効果的に活用することにより、少子高齢化の進展への対応等の我が国が直面する課題の解決に資する環境をより一層整備することが重要であることに鑑み、官民データの適正かつ効果的な活用の推進に関し、基本理念を定め、国や地方公共団体及び事業者の責務を明らかにし、並びに官民データ活用推進基本計画の策定その他官民データ活用の推進に関する施策の基本となる事項を定めるとともに、官民データ活用推進戦略会議を設置することにより、官民データ活用の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進し、もって国民が安全で安心して暮らせる社会及び快適な生活環境の実現に寄与することを目的とする。（第一条、目的）

基本的施策は室蘭市の説明資料によると。

- ・行政手続等のオンライン化原則
- ・オープンデータの促進
- ・データの円滑な流通の促進
- ・データ利用のルール整備
- ・マイナンバーカードの普及・活用



- ・データ連携の為プラットフォーム整備
- ・人材育成・普及啓発等
- ・国の施策と地方の施策との整合性の確保等

オープンデータの取り組みは、官民データ活用推進基本法に基づき進められています。

### 3. 室蘭市のオープンデータの活用事例

- ・マイ広報誌

市が発行する広報誌をデータ化し、インターネットで無料配信するサービス。パソコンやスマホでいつでも利用できます。

- ・全国水利台帳

全国の水利を表示できるようにしたものです。また、火災現場に近い水利を誰でも瞬時に分かるようにしてあります。

- ・道南バス時刻表

乗車するバス停と降車するバス停を入力すると時刻表が表示されます。

- ・室蘭市オープンデータによる防災教育地図教材

津波などの浸水想定と人口情報などを重ねて防災教材に利用できます。

以上は、室蘭市が取り組んでいるオープンデータの一部です。この他にもいろいろな情報が利用できます。

### 4. オープンデータに取り組む経緯

室蘭市のオープンデータはGISが特徴とされています。

GISは、地理情報システムの略称で、地理情報及び付加価値情報をコンピュータ上で作成・保存・利用・管理・検索等が可能なものです。つまり地図上にいろんな情報を入れることが可能なシステムと言えます。室蘭市では市職員からGIS導入の要望を受け、市長が導入を決断し今に至っています。

現在では、全庁で使用されており、固定資産税や道路管理に特化したGISも利用されています。

### 5. 利用する方々への要請

室蘭市では、オープンデータを利用する際、利用する方々へ何点かの注意する事項を予め示し、ダウンロードしたことを持って承諾したものとしています。自由に利用できるとは言え、やはり一定の条件が必要となってくとの考えです。

- ・公開するデータは、特に記載の無い限り、CCBYとして公開する。
- ・市はデータの所有権、その他の財産権は放棄しない。
- ・データの利用に際し市の承諾は不要。利用料金もかからない。
- ・データは完全に正しいとは限らない。市ではデータの完全性は保証しないので、利用

者の責任で利用。

- ・データ利用によって生じた損害は、市は一切の責任を負わない。
- ・データ利用によって、他の人権を損なったり、安全を脅かしたりしないこと。
- ・万一、訴訟が生じたときは、市が管轄する裁判所を第一審の裁判所とする。など。

## 6. データ公開に必要な行政側の要件

オープンデータに取り組んで行く際に必要なことは、継続性です。室蘭市ではデータを公開するに当たり、手間と経費をかけることなく更新できる体制を作っています。

その基礎となっているのは、「職員が職務上扱うデータは基本的に間違っていない」という考えで、データチェックや修正はしないということです。

## 7. オープンデータに関連する取り組み

### ・アーバンデータチャレンジ

アーバンデータチャレンジは、地域課題の解決を目的に、地方自治体を中心とする公共データを活用した一般参加型のコンテストです。室蘭市は平成26年度から北海道ブロックを拠点として参加しており、オープンデータを活用したスマホアプリのアイデアを考える「まちをもっと良くするアプリアイデアワークショップ」を開催しています。

アーバンデータチャレンジのイベントをきっかけに、「室蘭の良いところを発信しよう」と平成26年9月に「室蘭LocalWiki」を市民が中心となって立ち上げ、すでに1,200人が参加しています。また、平成26年度の第3回ワークショップでのハッカソンチームが「Code for Muroran」を立ち上げ、「まち歩きイベントを開催し、市内のバス停を地図上にプロット」「バス路線情報をデータ化」「5374（ゴミナシ）室蘭版の作成、公開」「むろらん保育園マップの作成、公開」を取り組んできました。

### ・オープンガバメント推進協議会

オープンガバメント推進協議会は、武雄市・千葉市・奈良市・福岡市・三重県・室蘭市・大津市・弘前市・横須賀市・郡山市・日南市・浜松市で構成されており、オープンデータの活用推進に取り組んでいます。

### ・室蘭工業大学との連携

室蘭工業大学大学院でオープンデータを活用した授業が行われ、市職員も研修として派遣され、地域課題を解決するスマホアプリを考える授業に参加しています。

## 8. 所感

オープンデータと聞いても馴染みが薄い人も多いと思います。岩手県で取り組んでいるのは、一関市だけということも関係しているのではないかと思います。（平成30年4月3

0日時点)しかし、平成28年に官民データ活用推進基本法が公布・施行されたことにより、都道府県において「都道府県官民データ活用推進基本計画」が策定されることになっており、今後の盛岡市における、オープンデータの取り組みに資するために、今回の視察が計画されたものです。

「オープンデータは、税金で作られたデータは、国民、住民のもの、という考えから常に利用可能な状態にすることは当然の事」との説明を受けました。確かに、市のホームページや広報でお知らせしている市としての施策やそれを実行していく財政的な基盤は、税金で賄われています。これは、オープンデータに限ったことではなく、行政に携わる人たち、当然、私たち議員も常に考えていかなければならないことです。

オープンデータは、情報(データ)が利用し易くなることが期待されていますが、実際の行政の施策においても、住民が何を必要としているのかを把握し、活かしていくことをその前提として捉えていくことが必要となってくるのではないかと思います。そんな意味からも、情報(データ)を公開するというだけでなく、市の施策と関連付けていかなければならないと考えています。

オープンデータの取り組みは、提供する側と利用する側の相互の関係において成り立っています。ですから利用する側の人たちにも守っていただく一定のルールを作る必要を感じています。いろんな情報が氾濫し、時として人を傷つけてしまうことがあるような現代社会ではより一層求められることであります。また、個人情報を守ること等のセキュリティー対策は重要な要素になっています。

オープンデータの取り組みは、多くの可能性を持っています。他市の事例を参考にしていくことも必要です。そのためにも、継続性を持たせなければなりません。市職員の負担の軽減、経費をかけない運用は必要不可欠な要件だと考えます。

連携の取り組みも必要ではないかと考えます。室蘭市では、室蘭工業大学との連携が紹介されました。技術的なこともそうですが、それだけではなく、若い世代の考えを行政に取り入れていくことも視野に入れた連携を考えていきたいと考えています。盛岡市議会として、高校生議会を開催し、市立高校の皆さんから大変参考になる提言をいただけてきました。その意味では高校との連携も視野に入れるべきではないかと考えています。

オープンデータがどのようなもので、生活にどのように資するものなのかについては、室蘭市の取り組みでも紹介しましたが、実際に盛岡市民の皆さんに活用していただくことで、感じてもらえるのではないかと考えます。そのために、今回の視察を市の取り組みに反映させていくことが私たちの役割ではないかと考えています。その一環として、平成30年9月定例会では一般質問で取り上げます。また、議会改革の取り組みも含め、「議会だより」のオープンデータ化を早い段階で実施していくことにしています。

改めて室蘭市視察を、盛岡市の今後のオープンデータの取り組みに活かしていくことを明らかにし報告とします。

以上



## 区界高原少年自然の家：大規模改修後の施設見学について

日 時 2018年7月6日(金)  
場 所 盛岡市立区界高原少年自然の家  
視察項目 大規模改修後の施設見学  
説明者 区界高原少年自然の家所長 鷹背 達様

### 《視察内容》

#### 1. 大規模改修後の施設見学

建設から40年以上が経過したため、平成29年度に耐震補強など大規模改修工事を行ない、今年4月に宿泊利用を開始した区界高原少年自然の家。自然学習の拠点として盛岡市内外の小学校などに幅広く利用されている施設の現在の様子を視察した。

#### 2. 施設の概要について

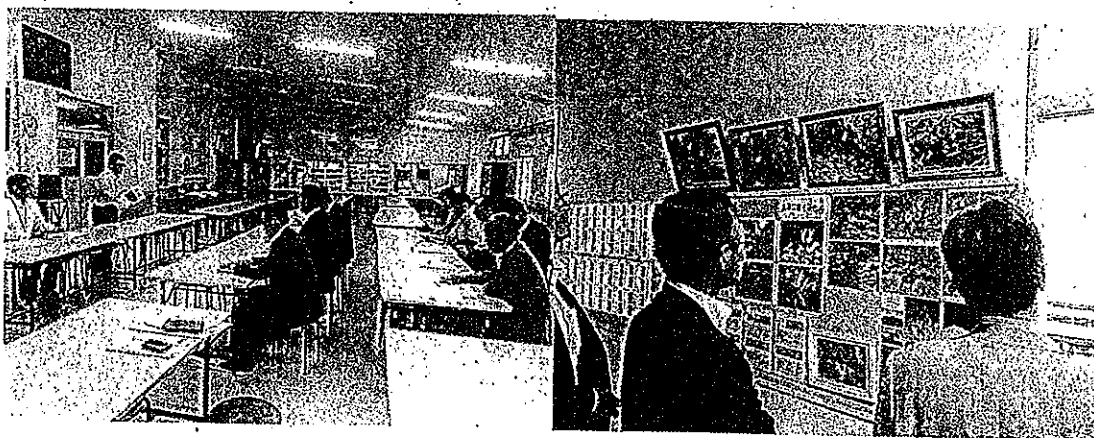
◎昭和50年7月1日供用開始

敷地面積 1,655,804 m<sup>2</sup>。建物 3,045 m<sup>2</sup>

1972(昭和47)年に、現在は倉庫などの作業棟として使用する2階建ての宿泊施設を備えた『盛岡市子どもの家』が野外体験学習施設として開所。学校などを大規模に受け入れ可能な施設とするため、宿泊棟、管理棟、プレイホールなどを整備し、1975(昭和50)年7月1日に区界高原少年自然の家の名称となり開所した。計200人を収容する宿泊棟、170人分のテント泊スペース、野外炊事場などを備え、市内外の小学校の林間学校や子ども会の野外キャンプなどに使われている。

◎今年度の主催事業

- ・指導者・リーダー育成事業
- ・青少年野外活動体験事業
- ・探訪事業
- ・家族のふれあい事業





### 3.大規模改修工事の内容について

- ・少年自然の家施設整備事業として、2016年度は実施設計に関する3120万円を当初予算に計上し、2018年度の供用開始を見込み、2017年度に着工。盛岡市の公共施設保有最適化・長寿命化中期計画（2016年3月策定）に基づき、新規事業で大規模改修が行われる施設としては初めてとなる。
- ・2014年度に市が実施した耐震診断で、宿泊棟、管理棟などは耐震診断では基準を満たしたが、作業棟とプレイホールが耐震基準を満たしていないことが判明。作業棟は大規模改修に伴い解体し、プレイホールは耐震補強工事を実施。体育館は改修しない。
- ・宿泊棟および管理棟については、屋根や外壁の補修、電気・機械設備の更新など躯体を残す以外は全面的に改修。
- ・トイレは簡易水洗から水洗に変わり、暖房便座とウォシュレット付きになった。
- ・寒さを防ぐ二重サッシを設置した。
- ・照明は全館LED化。
- ・出入り口にスロープを設置して車いす対応にするなどバリアフリーにも配慮した。
- ・内外壁の補修、プレイホールの床の張り替えと耐震補強、施設全般の耐熱性能の向上などに取り組んだ。
- ・総事業費は4億8700万円。



#### 4.利用状況について

◎開所から43年を経て、2018年6月6日に累計100万人に達成した。

年 度	団体数	実人数	延人数	開所日数	利用日数	一日平均数
平成27年度	297	9,904	16,732	301	236	55.6人
平成28年度	206	8,320	13,790	302	238	45.7人
平成29年度	138	6,675	9,284	306	227	30.3人

※平成29年度は7月1日からの大規模改修工事の関係で、野外の日帰り利用の受入れと日帰り事業を実施

利用者のピークは1983(昭和58)年の約3万1900人だが、近年は施設の老朽化もあり、ピーク時の半数程度で推移していた。

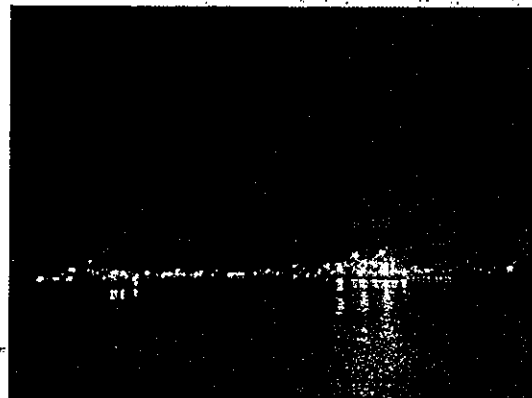
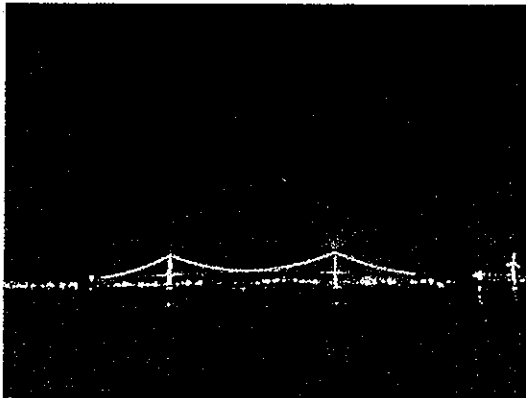


【終わりに】

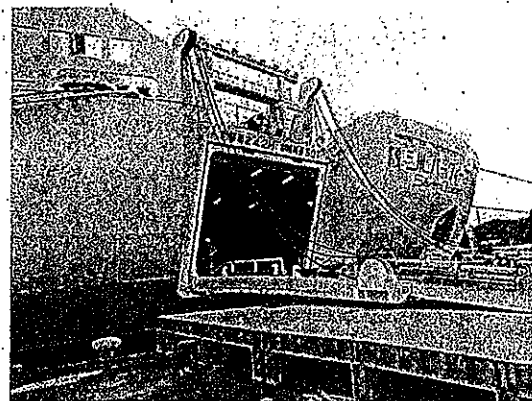
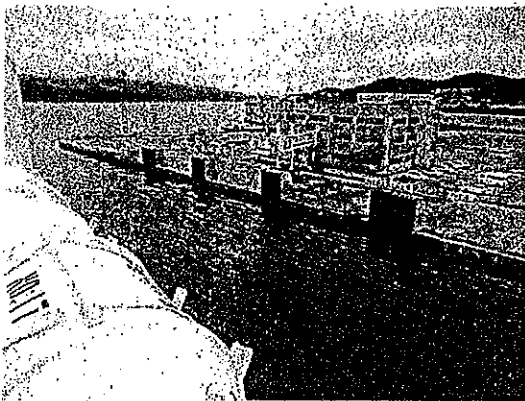
今回の視察は、平成30年6月22日に本県初のフェリー定期航路として開設された、宮古・室蘭フェリーを利用し応援することも、視察地を選定するうえで考慮したもので、帰路に室蘭港から宮古港まで乗船することができた。

宮古港は初めて、室蘭港でも10年ぶりのフェリー定期航路であり、就航に対する地域の期待も大きく、両市をあげて観光客や物流の誘致に向けたPRに積極的に取り組んでいる。

あいにくの天候で若干の揺れがあったり、宮古港での接岸に時間を要すなどの影響もあったが、約1.0時間の快適な船での移動を経験することが出来た。



室蘭港の工場夜景



宮古港とフェリーターミナルビル

様式第6号

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
H30.11.2	18,800 円	第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮 (参加費、宿泊費) (11月14日~15日)	
H30.11.13	94 円	会派行政視察先への土産代 (伊達市)	参加者で按分
H30.11.14	42,906 円	会派行政視察旅費宿泊費 (11月14日~16日) (宇都宮市、福島市、伊達市)	
H30.11.14	570 円	会派行政視察現地タクシー代 (宇都宮市)	参加者で按分
H30.11.15	500 円	会派行政視察現地視察料 (ファーマーズ・フォレスト)	参加者で按分
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	62,870 円		

## 政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.11.2
------	-------	-----	----------

支出証拠書類の額面金額	244,400	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	13分の1	
政務活動費支出金額	18,800	円
【支払概要】		
支出内訳：フォーラム参加代金 7,000 円		
宿泊費 11,800 円		
参加議員 遠藤 政幸、村田 芳三、中村 一、佐藤 栄一		
菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子		
中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

ご依頼日 平成30年11月5日

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)  
 預金払戻請求書 による振込受付書 (兼振込手数料受取書)  
 預金口座振替

先方銀行	岩手銀行	<input type="checkbox"/>	みずほ	銀行 信金 信組 農協 その他	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	十四号	支店
	預金種目	普通 当座 貯蓄 その他	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	口座番号	0660182	振込金額	十億 百万 千 円 ¥4800
お受取人	フリガナ	カ)シエイテイ-セ-					
	漢字	株式会社 JTB 様					
ご依頼人	フリガナ	0438モリオカシキカイ					
	漢字	0438 盛岡市議会 様					
	おことば	盛岡市内丸12-2 電話番号 0196138315					

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等により振込が遅延することがありますので、ご了承ください。
- ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。なお、預金からの払戻しは振込日に行います。

お振込手数料 (消費税込み) 648円

当行をご利用いただきましてありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



株式会社 岩手銀行

61346◎(30.01)

ご依頼日 平成30年11月2日

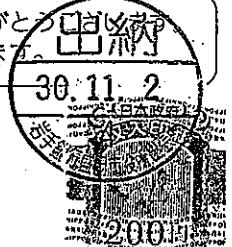
振込金受取書 (兼振込手数料受取書)  
 預金払戻請求書 による振込受付書 (兼振込手数料受取書)  
 預金口座振替

先方銀行	岩手銀行	<input type="checkbox"/>	みずほ	銀行 信金 信組 農協 その他	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	十四号	支店
	預金種目	普通 当座 貯蓄 その他	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	口座番号	0660182	振込金額	十億 百万 千 円 ¥239600
お受取人	フリガナ	カ)シ"エイテイ-セ"-					
	漢字	株式会社 JTB 様					
ご依頼人	フリガナ	0438モリオカシキカイ					
	漢字	0438 盛岡市議会 様					
	おことば	盛岡市内丸12-2 電話番号 0196138315					

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等により振込が遅延することがありますので、ご了承ください。
- ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。なお、預金からの払戻しは振込日に行います。

お振込手数料 (消費税込み) ¥864-

当行をご利用いただきましてありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



このお振込は翌営業日としてお預りしました

株式会社 岩手銀行

2:00



盛岡市議会 宮川 寿様

請求書番号 0438

発行日 2018/10/24

## 請求書

株式会社JTB  
 宇都宮支店  
 第13回全国市議会議長会  
 研究フォーラム in 宇都宮  
 担当 [REDACTED]  
 TEL 03-5396-8165

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。  
 このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月8日(木) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後  
 お早めにご連絡をお願いいたします。

0438

ご請求内訳	人数	金額
参加代金		¥7,000
合計		¥7,000
内入金額		

ご請求額

¥7,000

\*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行  
 【預金種別】 普通  
 【口座名義】 株式会社JTB  
 カジエイイービー

【支店名】 十四号支店  
 【口座番号】 0660182  
 【お客様番号】 0438

\*お名前の前にお客様番号をご入力ください。





盛岡市議会 宮川 寿様

請求書番号 0438

発行日 2018/10/24

## 請求書

株式会社JTB  
 宇都宮支店  
 第13回全国市議会議長会  
 研究フォーラム in 宇都宮  
 担当 [REDACTED]  
 TEL 03-5396-8165

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。  
 このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月8日(木) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後  
 お早めにご連絡をお願いいたします。

0438

ご請求内訳	人数	金額
宿泊代金		¥11,800
合 計		¥11,800
内 入 金 額		

ご請求額

¥11,800

\*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

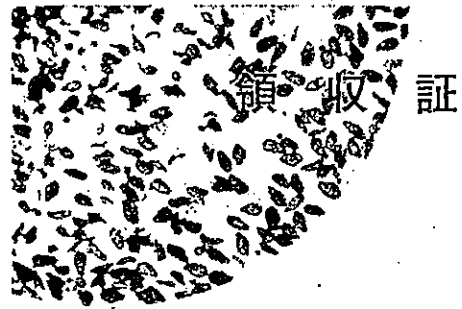
【銀行名】 みずほ銀行  
 【預金種別】 普通  
 【口座名義】 株式会社JTB  
 カジエティーバー

【支店名】 十四号支店  
 【口座番号】 0660182  
 【お客様番号】 0438

\*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.11.13
支出証拠書類の額面金額	1320 円		
支出按分率 (※按分が必要な場合)	14分の1		
政務活動費支出金額	94 円		
【支払概要】			
視察先手土産 参加議員14名で均等割 原本は千葉議員が保管 94円×14名=1,316円 端数4円は千葉議員に計上 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、中村 一、佐藤 栄一 菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子 中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦			
領収書等添付欄		<input type="checkbox"/> 別紙に添付	



領収証

盛友会

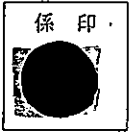
様

No. 027595

金額									
				¥	1	3	2	0	-

但御煎餅代として

H.30 年 11 月 13 日 上記正に領収いたしました



盛岡せんべい

本店 盛岡市本町通二丁目16-2 TEL.019(622)4444  
 工場 盛岡市手づくり村内  
 大浜店 盛岡市大浜三丁目2-30  
 フェサン店 盛岡駅ビルフェサン おでんせ録1F

収入印紙

内訳

現金 \_\_\_\_\_

小切手 \_\_\_\_\_

手形 \_\_\_\_\_

消費税額 (8%) \_\_\_\_\_

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.11.14
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	42,906	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	42,906	円

【支払概要】

支出内訳：盛岡～宇都宮JR券	12,300	円
宿泊費（福島市）	8,100	円
宇都宮～福島借上バス代	7,062	円
運行経費	2,307	円
福島～盛岡借上バス代	12,273	円
企画料金	864	円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

**領収証**

BC-00029745  
発行日 2018/11/14

納税者 宮川 寿 様

**金額 ¥42,906**

上記金額を正に領収いたしました。  
但し、視察旅費として

現金  
 小切手  
 振込 42,906 円  
 クレジット  
 その他

名鉄観光サービス株式会社  
 (本社所在地)  
 名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
 (住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です

責任者印	領収者印

BC-024005

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.11.14
------	-------	-----	-----------

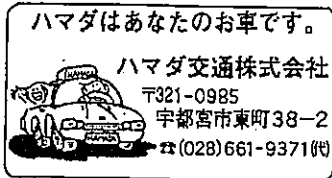
支出証拠書類の額面金額	7,420	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	13分の1	
政務活動費支出金額	570	円

【支払概要】

タクシー借り上げ代  
 参加議員13名で均等割 原本は千葉議員が保管  
 570円×13名=7,410円 端数10円は千葉議員に計上  
 参加議員 遠藤 政幸、村田 芳三、中村 一、佐藤 栄一  
 菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子  
 中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書  
 No. 3840  
 日付 2018年11月14日  
 車番 002129 0000  
 基本運賃 ¥1,990円  
**合計 ¥1,990円**  
 上記の様に領収致しました



領 収 書  
 No. 9208  
 日付 2018年11月14日  
 車番 002113 0000  
 基本運賃 ¥1,990円  
**合計 ¥1,990円**  
 上記の様に領収致しました



領 収 書  
 No. 7022  
 日付 2018年11月14日  
 車番 002108 0000  
 基本運賃 ¥1,990円  
**合計 ¥1,990円**  
 上記の様に領収致しました



領 収 書  
 No. 8866  
 日付 2018年11月14日  
 車番 002119 0000  
 基本運賃 ¥1,450円  
**合計 ¥1,450円**  
 上記の様に領収致しました



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H30.11.15
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	14分の1	
政務活動費支出金額	500	円

【支払概要】

視察料

参加議員14名で均等割 原本は千葉議員が保管  
500円×14名=7,000円

参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、中村 一、佐藤 栄一  
菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子  
中野 孝之助、千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦

領収書等添付欄  別紙に添付

領 収 証

No. 000627

益友会様

2018年11月15日

金額 ¥7000

収入  
印紙

但し 視察料として @500 × 14 名様  
上記正に領収いたしました

内 訳	
税抜金額	
消費税 (%)	

株式会社 ファーマーズ・フォレスト

〒321-2118 宇都宮市新里町丙25番地  
TEL 028-665-8800



担 当



## 視察等概要書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成30年11月14日(水)～15日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、中村一、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	栃木県宇都宮市 全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会に女性や若い人が少ないと言われることが多い。物理的に数を増やすことは今の自分には難しい。しかし、数を増やすことだけで良いのだろうか。数的には増えなくても、しかしそれも課題の一つではあるが、その人たちの意見を広く議会に反映させることで、ある程度解消することが出来るのではないか。つまり、提起されている課題に対して、一つの答えにだけ固執するのではなく多面的に捉え解決の方法を探っていくことが必要と考える。</li> <li>・議会基本条例は制定が目的ではなく、実践に結び付けていくことこそが重要である。更に言えば議員ひとり一人の改革なくして議会改革は成し遂げられないのである。そのことを盛岡市議会としても追及していくことの必要性を感じた。</li> <li>・議会報告会についても、議員側からの一方通行に終わっている傾向が顕著である。しかし、これは「やってみてわかること」であり無駄な事ではない。盛岡市議会も新たな方式を探っている。実践し、総括し、次につなげるこれが大切であり、次を探すのは議員の資質である。</li> <li>・議会が変わったことは、議員が変わったこと。それを判断するのは住民である。</li> </ul>
【添付資料】	有り

## 視察等概要書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成30年11月15日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、中村一、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	栃木県宇都宮市 『㈱ファーマーズフォレスト：道の駅うつのみやろまんちっく村の運営』 について
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ろまんちっく村」を訪れたのは、平日であったが来場者が多く賑わいを見せていた。道の駅ではあるが、露天風呂や温水プール、レストラン、産直コーナー、宿泊施設等が整備されており、リゾート施設を思わせる設備が整っていた。また、農業体験やパン作り等、来場者が体験できる工夫もされていた。親子で楽しめる、そんな工夫が随所に見受けられ今後の参考にしていく素材が多くあった。</li> <li>・もう一つは、地元の産品に拘っていることである。産直は当然であるが、地元農産品を使ったビールや蕎麦、焼き立てパン、コース料理等が用意されている。「地元を売る」というと農産物が思い浮かぶが、もっと多様な工夫が無ければ、「新鮮な農産物」だけでは地元の活性化には難しいことを改めて学ぶことが出来た。</li> <li>・当初は第三セクターで運営されていたが、平成19年から指定管理者制度に変わり、栃木県産品を県内外に販売している地域総合商社ファーマーズ・フォレストが運営に当たっている。この会社がこれまでの経験を活かし栃木県をブランドとして売り出している。指定管理者制度にはいろんな意見があるが、選定する側の「目」が重要になる。</li> </ul>
【添付資料】	有り

## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成30年11月16日(金)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、千葉伸行、中野孝之助、藤澤由蔵、宮川寿
視察先および調査項目	福島県伊達市 『健幸都市とスマートウェルネスシティ事業』について
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化と人口減少が進む中で、健康を重んじる風潮が高まっている。伊達市は「健康都市宣言」を発し、平成26年には健康都市基本計画を策定。モデル地区を設定し具体的に取り組んでいる。市全体でということではなく、取り組みの切っ掛け、広がりを考え、市の実情を考慮してのことである。現状に合わせて取り組み、趣旨を貫徹していく端緒で求められることである。現段階でも、モデル地域では住民が主体となった事業が展開されており、今後の広がりに期待したい。このことは、健康づくりだけではなく、市民協働にもつなげることが可能ではないと感じた。</li> <li>・ 健幸ポイント事業はユニークに感じられた。歩くことや健康づくりを行うことでポイントが貯まり、景品が貰える仕組みである。人は目標がある方が頑張れるし継続することができる。「運動をしよう」との掛け声より遥かに有効であると感じた。</li> <li>・ 高齢者専用共同住宅も興味深い。入居者同士が助け合い、見守り合いながら元気で暮らすためのものである。老々介護が問題視されているが、その解消につなげることが出来れば良いと感じた。</li> </ul>
【添付資料】	有り



## 盛友会 会派視察 日程表 (30.11.14~16)

【11月14日 (火)】 8:30盛岡駅南口待合室集合

盛岡駅 (8:50) —— (はやぶさ10号) —— (9:29) 仙台駅  
仙台駅 (9:41) —— (やまびこ132号) —— (10:55) 宇都宮駅  
宇都宮駅 (11:40) —— (タクシー) —— (12:00) 宇都宮市文化会館

◎市議会フォーラム テーマ:議会改革-議会基本条例10年-  
12時~:会場受付  
13時 開会式  
13:20 基調講演 明治大学名誉教授 中頼 章 氏  
「議会改革の実績と議会力の向上-政策創造の立法部を考える」  
14:40 ~17:00 パネルディスカッション

宇都宮市文化会館 (17:00) —— (タクシー) —— (17:15) 宿泊先

【11月15日 (水)】 8:00ロビー集合

ホテル (8:10) —— (タクシー等) —— (8:30) 宇都宮市文化会館

◎市議会フォーラム 8:30 開場  
9時~11時 課題討議・事例報告3市  
11時 閉会式

バス乗車 (乗車場所はバス運転手と調整をお願いします。)

宇都宮市文化会館 (11:10) —— (借り上げバス) —— (11:30) 道の駅ろまんちっく村  
(昼食:各自)

◎ファーマーズフォーレスト視察(道の駅ろまんちっく村にて現地視察)

道の駅ろまんちっく村 (13:00) —— (借り上げバス) —— (15:00) 福島駅

【11月16日 (木)】

福島市内 (8:45) —— (借り上げバス) —— (9:30) 伊達市役所

◎伊達市視察(9:30~11:00)  
〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地  
電話番号:024-575-1217  
健幸都市とスマートウェルネスシティについて(担当:健幸都市づくり課)

伊達市役所 (11:00) —— (借り上げバス) —— (15:30) 盛岡駅

## 第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮について

- 1 日 時 平成30年11月14日(水)～15日(木)
- 2 場 所 宇都宮市文化会館(栃木県宇都宮市明保野7-66)
- 3 参加者 約2,200人

テーマ:「議会と住民の関係」

平成31年に実施される統一地方選挙を控え、人々の社会と生活が大きく変化する時代において、地方自治の根幹をなす議会が住民とどのように関わり、どのようにすれば住民の議会に対する関心を高めることができるか

11/14 報告

### 第1部 基調講演

「地域共生社会」をどうつくるか 2040年を超える自治体のかたち

講師 中央大学法学部教授 宮本太郎氏

- ◎ 人口減少が続くなか、高齢者人口がピークを迎える2040年問題に向けて自治体において差が出てくる。
- ◎ 自治体が十分に出来ることはある。ピンチをチャンスにするために、人財を作るまち、活躍できるまち、自治体が必要となってくる。
- ◎ 三重県名張市の包括的な相談支援、静岡県富士市のユニバーサル就労推進条例、大阪府豊中市のくらし支援課を中心に無料職業紹介事業など既に人財を活用した取組みを実施している自治体もある。
- ◎ 地縁や血縁より、支え合い、介護など必要縁による新しい地縁、新しい家族縁が求められる。その中でずっと出番がある、必要縁でつながるまちが大切である。

### 第2部 パネルディスカッション

議会と住民の関係について

コーディネーター 江藤俊昭氏(山梨学院大大学院研究科長)

パネリスト 今井照氏(地方自治総合研究所主任研究員)

本田節氏(栴ひまわり亭代表 元人吉市議)

神田誠司氏(朝日新聞大阪本社地域報道部記者)

小林紀夫氏(宇都宮市議会議長)

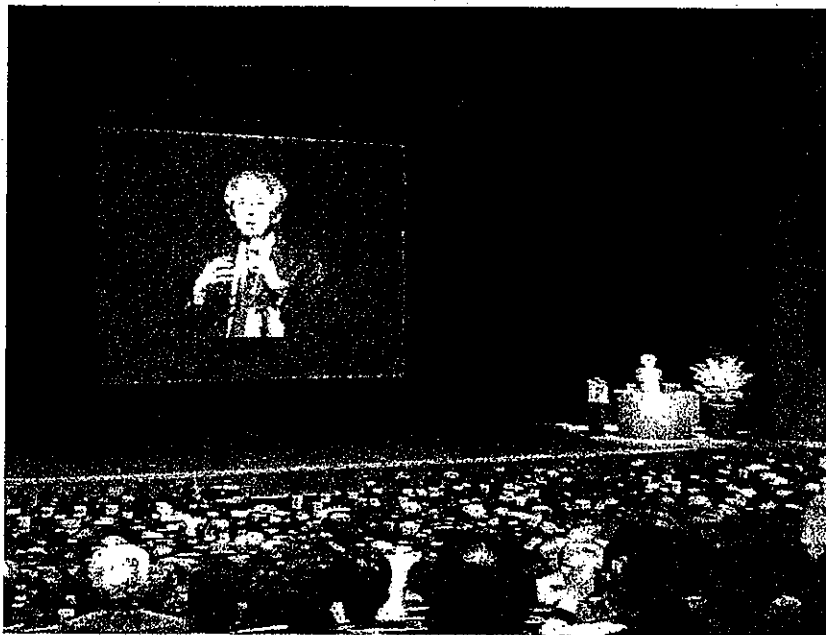
(神田氏) 12、3年前から議会が大きく変わってきた。議会が地域の代表の機能に足りているのか。議会報告会は議員が話すことだけでなく、聞くことが大事。議会に女性、若者が少ないどの声を聞くが、多様な意見を取り上げる仕組みを作ることが必要である。

(本田氏) 主婦力を活かして、地域づくり、議員活動を行ってきた。

まちづくりでは実行性のあるプラン作成に努めている。

住民と議会が一体となった新しいコミュニティづくりが求められている。

(今井氏) 合併が繰り返され、行政、議会、住民との関係が変わってきている。国が市町村に求める計画策定(新規立法や改正法)により、地域特性に応じて自治体議会で議論し選択できる幅が小さくなっている。



基調講演 宮本太郎氏



## ファーマーズ・フォレスト：道の駅ろまんちっく村について

- 1 日 時 平成30年11月15日(木) 11:30~13:00
- 2 場 所 道の駅うつのみや「ろまんちっく村」
- 3 対応者 (株)ファーマーズ・フォレスト 広報 〇〇氏
- 4 視察項目 道の駅うつのみや「ろまんちっく村」の運営について
- 5 説明要旨

### (1) 「ろまんちっく村」の概要について（構内各施設を見ながら説明）

- ・平成8年に市制100周年記念事業として農林公園を整備し、平成24年9月に、市内初の「道の駅」としてリニューアルオープン。
- ・当初は第3セクターで運営されていたが、平成19年から指定管理制度を採用し、以来ファーマーズ・フォレストが指定管理者として運営。
- ・総面積46ヘクタール（東京ドーム10個分）の広大な敷地を、「集落のエリア」「森のエリア」「里のエリア」に分け、それぞれ特色のある構成となっている。
- ・特に「集落のエリア」は、地元産の農産物や土産品などが揃う看板産直施設「あおぞら館」、地元産食材を使った料理や園内で醸造された地ビールを味わえる「麦の楽園」、熱帯温室がありイベントも行われる「ローズハット」、園内で湧出する温泉と屋内プールが楽しめ、10室（利用率90%程度）の客室を備えた「ヴィラ・デ・アグリ」などの集客力と収益性の高い施設で構成されている。
- ・当初の来場者数は10万人程度であったが、道の駅に登録されて以来、来場者数が増加傾向にあり、平成29年度は146万人が来場。

### (2) ファーマーズ・フォレストの概要について

- ・栃木県産品を県内外に販売する地域総合商社で、売上高20億円/年。マーケティングに基づく販路の仕組みづくり、生産から加工販売までのプロデュース、地域資源のブランド化に取り組んでいる。
- ・トチギフトを通じ、製品の紹介に止まらず、ストーリーを含めて紹介するなど、栃木という地域のブランド化に取り組んでいる。
- ・事例として、大谷石の採石所の跡地の利用と活性化を進めるため、5~7度の地下水の冷熱を利用した夏いちごの栽培に成功し、耕作放棄地の活用につなげたり、採石所の地底湖を利用した地底湖クルーズを企画するなど、町おこしにも取り組んでいる。
- ・生産者と消費者の思いをつなぐことで販路を確立していく。生産・加工・二次加工・販路・消費を有機的につないでいく仕組みをつくる。産直が小規模、JAなどが大規模とするとその間の中規模の販路の。
- ・産地と産地をつなぐローカル・トゥ・ローカルの取り組み。うるま市と栃木市との交流。季節・地域を超えた文化を含めた交流。

◎説明後質疑応答に入った

(主な質疑応答)

竹田議員 うるま市との交流には輸送コストが課題となっているのではないかと推察されるがいかがか。

<回答>野菜などは空輸で対応しておりコストが高くなってしまいますので、加工品等を中心に対応する。

菊田議員 売上高が23億円ということだが利益率はいくらか。

<回答>産直のみをとると、19億円の売り上げで、その15%から20%の手数料としていただいている。それほど大きな利益にはならない。

菊田議員 うるま市との交流を単純にコスト比較すると、ハウス栽培をしたほうが安くなるのではないかと考えるがどうか。

<回答>当初は野菜等も空輸で対応していたが、コスト面で難しい。うるマルシェの事業にあたっては産品をつなぐだけではなく、ロマンチック村で成功した課題解決の仕組みをうるま市にあてはめることを主眼に取り組んでいる。現在は、お取り寄せや夏イチゴに力点を置いている。

## 5 まとめ

本視察は昨年度のうるま市の視察の際に、産直事業の計画策定に際しファーマーズ・フォレストの尽力があったことに触れたことに端を発しているが、全国的にも注目されている「ろまんちっく村」の施設と「ファーマーズ・フォレスト」の経営手法を視察することが出来たことは非常に有意義であった。

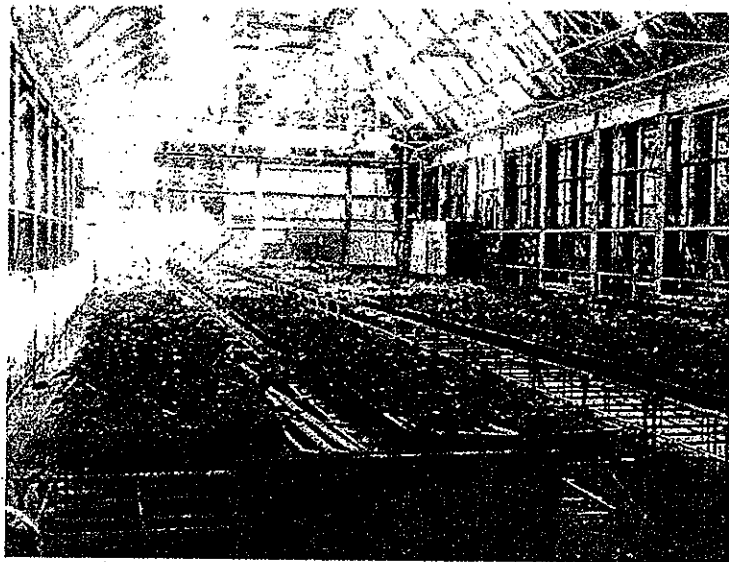
特に「ファーマーズ・フォレスト」は「うるマルシェ」の事業にも携わっており、今冬に予定している視察で、栃木県での成功事例が沖縄県でどのように活用され、成果はどうか確認することは、盛岡市で計画している道の駅を整備するうえで、参考にすべき貴重な先進事例である。



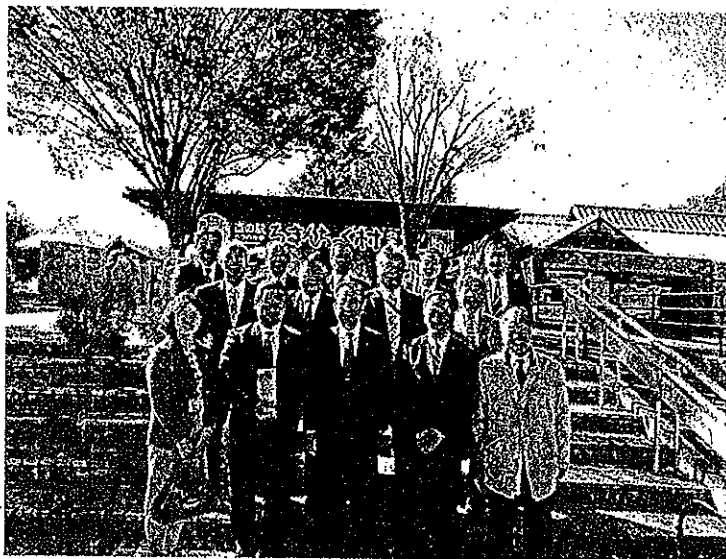
①産直施設「あおぞら館」の様子



②産直施設「あおぞら館」の様子Ⅱ



③施設内で栽培されている大谷夏いちめの苗



④ろまんちっく村入場ゲートと参加者

## 伊達市：健幸都市とスマートウェルネスシティについて

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 19 日(金) 9:30~11:00
- 2 場 所 伊達市役所
- 3 対応者 伊達市議会 高橋一由 議長  
伊達市議会事務局 三浦敏徳 局長  
[REDACTED] 庶務係長  
伊達市健康福祉部健幸都市づくり課 長沢弘美 課長
- 4 視察項目 ・「健幸都市」の実現に向けた考え方  
・健幸都市基本構想の概要と構想に基づいた事業の内容について

### 5 視察内容

#### (1) 伊達市概要

- ・市制施行 平成 18 年 1 月 1 日 (5 町の合併により発足)
- ・面積 265.1 km<sup>2</sup>
- ・人口 61,207 人
- ・議員定数 22 人

#### (2) 伊達市説明要旨

- ・平成 21 年度に首長研究会で提言された「健幸なまちづくり政策」を受け、平成 22 年度から具体的な検討に入った
- ・平成 23 年度に伊達市健幸都市基本構想を策定。健幸都市宣言を行いモデル地区で取り組みを始めた。
- ・平成 25 年度に伊達市健幸都市基本条例を制定。
- ・平成 26 年度に伊達市健幸都市基本計画を策定し、「健康づくり」「暮らしづくり」「ひとづくり」の 3 本の柱で施策を進めることとした。
- ・一つ目の柱「健康づくり」の内容は、予防重視型の健康づくり施策です。
- ・具体的な健康づくりの取り組みは、①元気じゃ脳教室②元気づくり会③元気クラブ④健康運動教室など。
- ・さらに、施策を推進する上での課題を見える化するため、健幸クラウドを立ち上げた。
- ・二つ目の柱「暮らしづくり」の内容は、健幸都市モデル地区の設定です。
- ・市街地の掛田地区と中山間地の白根地区の 2 地区をモデル地区に選定した。
- ・掛田地区では、インフラ整備、ポケットパーク整備、既存の養蚕農家を活用した街中サロンの開設、山間地の人々が冬季間住むことがで

きる高齢者専用共同住宅の建設、ソフト事業として健幸フェスティバルの開催などの取り組みを行った。

- ・白根地区では、地区協議会を開催し、専門部会で住民目線の計画立案実現化方策の検討を行った。
- ・具体的な内容は、やってみっぺプロジェクト事業として、健康サロン、登山ルート整備、散策ルート開発、地域スポーツクラブ開設などの事業。
- ・三つ目の柱「ひとづくり」の内容は、市民の健幸意識の醸成、健幸ポイント事業の創設、市庁内連携のためのSWC推進会議立ち上げなどです。
- ・そのほかにモデル地区での成果を活かした全市展開を進めている。
- ・今後の取り組みの課題としては、①日常に歩く仕掛け②モデルから全市展開へ③総合政策としてのまちづくりへの3点を挙げている。いずれ課題を解決していくには庁内横断的に施策を進めていくことが必要。

### (3) 質疑

宮川議員 ①地元との関係は町内会か②医療機関との関係は③高齢者専用住宅の管理、生活環境は。

<回答> ①町内会単位でやっている。除染もやり一般施策等もやっている。各町内のシンボル施設を町内会につくって管理してもらった②まちづくり協議会の中に医師会もメンバーに入り、アドバイスをもらっている。推奨歩数は6,300歩。国は8,000歩を推奨している。③市営住宅の位置づけ。1万2千円で入居可。国の補助事業を活用している。共用部分（リビング、廊下など）を居住者の当番制で掃除や開け閉めなどを行っている。

宮川議員 掛田地区のキャンドル、伊達マルシェなどは町内会との共同事業か。

<回答> 掛田地区は町内会で、伊達マルシェはNPOで実施している。

菊田議員 ①健康クラウドの効果など状況はどうなっているか。②子供の健康化の取り組みは。

<回答> ①運営費を500万円負担している。教室参加者で差は出ているが、11万円から5万円の医療費差と押さえている。今後クラウドをどうするか、出費が課題になる。計画中間年での見直しを検討している。②別に母子対応を所管する健康推進課がある。健幸都市づくり課は特化した課だ。給食はセンター方式の完全給食を実施している。給食の無料化はしていない。

菊田議員 歩くことの教育はどうしているか

<回答> 子供にシール、カンバッジ、マグネットを配布しPRをしている。平成24年にチャレンジデーを開催し、皆で運動に参加した。



浅沼議員 条例の作り方、市役所内の部局間の調整はどうしたか。特徴は何か。

<回答> 平成24年から条例策定委員会を立ち上げ、市民、関係団体、医師会などで構成した。条例前文に原発の文言を入れ、市が作成した。基本条例として初めて作った。市長の思いが強かった。庁内の調整が大変だったが、課長を先頭に勉強をしながら頑張った。

まちづくり協議会を組織した。大学、公募、医師会、PTA、社会福祉協議会、県、などのメンバー構成。年2回開催し、5年間の振り返りをやることにしている。

千葉議員 健康ポイントの中身は。

<回答> ポイントに応じて商品券を配る。市単独費から支出していたが、今年からスポーツ庁の補助が出る。ポイントはスマホ連動歩数計で管理している。毎日記録し、市が入力して管理する仕組み。日本郵便がモデル地区でやっている仕組みを利用している。

千葉議員 上位法、上位条例との調整はどうなっているか。

<回答> 市長直轄部署になった。総合計画にも位置付けているので特に問題はない。前市長の思いが強くて今がある。

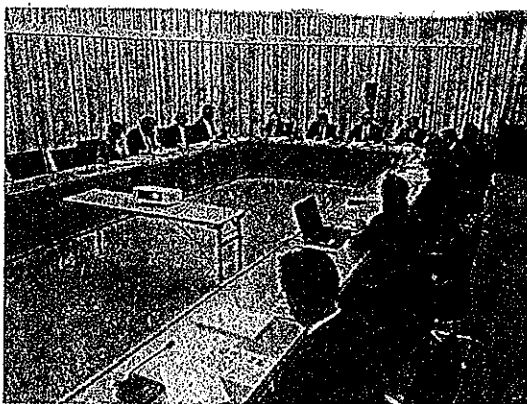
## 6 まとめ

少子高齢社会と人口減少社会への対策として、市民の健康に着目し、健康なまちづくりを進めるために、様々な施策、試みに着手している。

人口減少による街の活力衰退をどのようにして防ぎ、暮らしやすい地域社会を維持するか、知恵を出し試行錯誤の中で頑張っていることに敬意を表したい。

この取り組みは、トップである前市長の思い入れから始まっているようであるが、今の社会情勢を考えると、着目点が優れており、先見の明があったと評価する。

施策自体の評価には、今少し時間が必要と思われるが、我々も市民の健康に着目した施策を推進していく立場から、伊達市の今後の奮闘を見守りたい。



政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
H31. 1. 29	102,695 円	会派行政視察旅費宿泊費（1月30日～2月1日）（うるま市）	
H31. 1. 29	402 円	会派行政視察先への土産代（うるま市・那覇市）	参加者で按分
H31. 1. 30	118 円	会派行政視察高速料金（那覇市～うるま市間）	参加者で按分
H31. 2. 1	415 円	会派行政視察タクシー代（那覇市）	参加者で按分
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	103,630 円		

政務活動費支払伝票

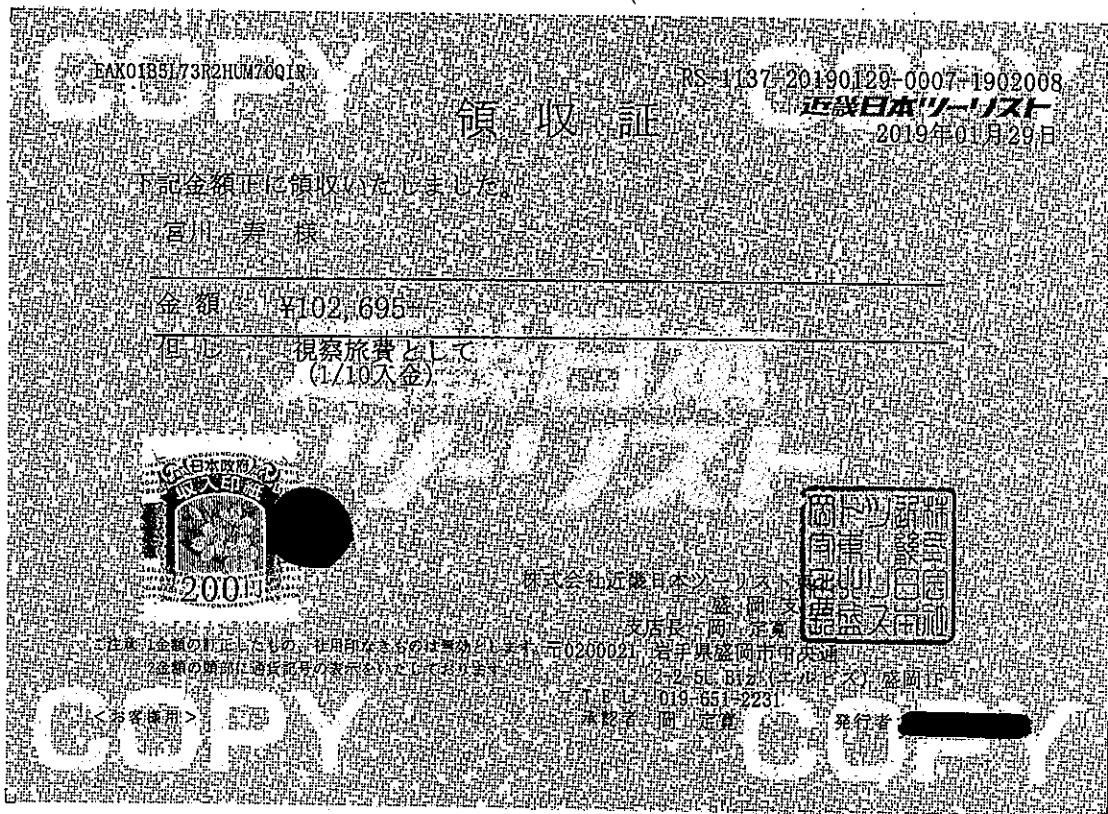
使途項目	調査研究費	支出日	H31. 1. 29
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	102,695	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	102,695	円

【支払概要】

支出内訳：盛岡～仙台空港JR券	13,960 円
仙台～那覇航空券	55,460 円
貸切バス代	10,350 円
バス運行経費	660 円
宿泊費	18,300 円
企画料金・保険料	3,965 円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H31. 1. 29
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	4,827	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	12分の1	
政務活動費支出金額	402	円

【支払概要】

視察先土産

参加議員12名で均等割 原本は千葉議員が保管

402円×12名=4,824円 端数3円は千葉議員に計上

参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、佐藤 栄一、菊田 隆

藤澤 由蔵、後藤 百合子、宮川 寿、櫻 裕子

千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

0000-2431

2019年 1月29日火曜日

領 収 証

盛友会

様

¥4,827-

(消費税 ¥357)

但し、おせらふていぞう  
老舗白沢せんべい店株式会社

盛岡市紺屋町2-16  
TEL019-622-7224



担当者



領収証No 2146

\*保管上のお願

財布等で保管裁く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成31年1月30日
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	1,420	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	118	円
【支払概要】		
高速料金 参加議員12名で均等割り 原本は千葉議員が保管 $118円 \times 12名 = 1,416円$ 端数4円は千葉議員に計上 参加議員 天沼久純、遠藤政幸、村田芳三、佐藤栄一、菊田隆、藤沢由蔵、後藤百合子、 宮川寿、櫻裕子、千葉伸行、浅沼克人、田山俊悦		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 沖縄南  
 TEL 098-932-4613  
 高速道路は便利でお得なETC  
 あなたもETCをつけてみませんか!

19年 1月30日16時20分  
 車種 特大

通行料金 ¥830-  
 (現金)

—入口料金所— 西原JCT  
 道路損壊や故障車、落下物を発見したら・・・  
 道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい  
 西日本高速道路株式会社  
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20  
 取扱番号216-00581554-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 西原  
 TEL 098-876-8958  
 高速道路は便利でお得なETC  
 あなたもETCをつけてみませんか!

19年 1月31日15時06分  
 車種 大型

通行料金 ¥590-  
 (現金)

—入口料金所— 沖縄北  
 道路損壊や故障車、落下物を発見したら・・・  
 道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい  
 西日本高速道路株式会社  
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20  
 取扱番号218-02441443-00

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	H31.2.1
------	-------	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	4,980	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	12分の1	
政務活動費支出金額	415	円
【支払概要】		
タクシー借り上げ代 参加議員12名で均等割 原本は千葉議員が保管 415円×12名=4,980円 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、村田 芳三、佐藤 栄一、菊田 隆 藤澤 由蔵、後藤 百合子、宮川 寿、櫻 裕子 千葉 伸行、浅沼 克人、田山 俊悦		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 202号  
 2019年02月01日

乗車料金  
 ￥620円

立替金  
 円

上記の通り正に領収致しました。

美栄第一交通

沖縄県浦添市内間5-4-7  
 TEL(098)877-7659  
 お忘れ物やご要望がありましたら  
 上記のTELまでご連絡下さい

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 204号  
 2019年02月01日

乗車料金  
 ￥1040円

立替金  
 円

上記の通り正に領収致しました。

美栄第一交通

沖縄県浦添市内間5-4-7  
 TEL(098)877-7659  
 お忘れ物やご要望がありましたら  
 上記のTELまでご連絡下さい

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 219号  
 2019年02月01日

乗車料金  
 ￥620円

立替金  
 円

上記の通り正に領収致しました。

美栄第一交通

沖縄県浦添市内間5-4-7  
 TEL(098)874-6440  
 お忘れ物やご要望がありましたら  
 上記のTELまでご連絡下さい

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。  
 車両番号 323号  
 2019年02月01日

乗車料金  
 ￥1040円

立替金  
 円

上記の通り正に領収致しました。

鏡原第一交通

〒902-0078  
 沖縄県那覇市字識名3-6-17  
 電話098-833-4784  
 お忘れ物やご要望がありましたら  
 上記のTELまでご連絡下さい

領収書

No.2473

日付 2019年02月01日  
 車番 0198 0000  
 基本運賃 ￥620円

合計 ￥620円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



タクシー御用命(24時間営業)

那覇市内 TEL853-7801

那覇市内と周辺のいたるところを  
 配車区域として無給車をご利用を

領収書

No.0634

日付 2019年02月01日  
 車番 0119 0000  
 基本運賃 ￥1,040円

合計 ￥1,040円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



タクシー御用命(24時間営業)

那覇市内 TEL853-7801

那覇市内と周辺のいたるところを  
 配車区域として無給車をご利用を

## 視察等概要書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成31年1月31日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、後藤百合子、菊田隆、櫻裕子、佐藤栄一、田山俊悦、千葉伸行、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 『うるま市農水産振興戦略拠点施設の概要』について
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うるマルシェの目的は、第一次産業の活性化であり、うるま市を元気にすることである。うるま市には初めての施設であり、成功を祈るものである。</li> <li>・盛岡市は寒冷な土地であり、冬期間の農作物は期待せず、産直などでは不利な要素となっている。うるま市は温暖な気候であり一年中農作物が生産できる。反面、季節感をどう感じてもらうのかを考えていく必要を感じたが、その点については、友好都市である盛岡との産地交流が行われており、これを契機に都市間の交流を盛んにしていくことが必要になってくる。これは盛岡市の課題でもある。</li> <li>・農業の活性化については、耕作放棄地の活用、新規就農者への支援などが考えられているが、端緒についたばかりで、これからの施策の展開が重要になってくるのではないかと感じた。</li> <li>・産地交流については先述したが、青森りんごは販売されていたが、盛岡りんごを見つけることは出来なかった。残念であった。これは、販売をしていく盛岡市の課題である。もっと食欲に「盛岡を売る」ことを実践すべきと強く感じた。</li> </ul>
【添付資料】	有り

## 視察等概要書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成31年1月31日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、後藤百合子、菊田隆、櫻裕子、佐藤栄一、田山俊悦、千葉伸行、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 『学校法人アミークス国際学園の事業概要』について
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アミークス国際学園の正門前にスクールバスが並んでいた。沖縄本島全域を対象に運行されているとのことであり、通学時間が気にかかった。子どもたちは、あまり気にならないようではあったが。</li> <li>・校舎の作りも関係しているのかもしれないし、教育方針が関係しているのかもしれないが、子どもたちはすこぶる元気で明るく、笑顔で挨拶してくれたのが印象的であった。子どもは元気が一番である。</li> <li>・14か国から65人の教員が教鞭をとっている。それぞれの国には文化があり、習慣、風習も違う。多様な価値観を持った教員から学ぶことが出来る子どもたちは、どのような影響を受けどんな価値観を持つのだろうか。大変興味深い点であった。</li> <li>・幼稚園から中学校までの幅広い年齢の子供たちが学ぶことにより、自然と年上の子どもは年下の子どもの面倒を見るようになり、人間形成の一助になっているように感じた。</li> <li>・国語、社会の一部以外の授業は、英語で行われているが、日本語の習得に不安は無いのだろうか。進学や転校に対する不安、心配はないのだろうか。気になった一つである。</li> </ul>
【添付資料】	有り



## 視察等概要書

議員氏名 宮川ひさし

会派名	盛友会
実施日	平成31年2月1日(金)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、後藤百合子、菊田隆、櫻裕子、佐藤栄一、田山俊悦、千葉伸行、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	沖縄県那覇市（沖縄セルラーパーク那覇） 『プロスポーツの誘致と地域スポーツ振興の取り組み』について
視察の概要および所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察当日は、読売巨人軍2軍のキャンプとあって、球場内の施設は使うことが出来ず、スタンドでの説明となった。なんだと思う人もいるかもしれないが、球場内立ち入り禁止という状況の中でも、視察を受け入れてくれたことに感謝すべきだと思った。</li> <li>・沖縄セルラースタジアム那覇は、盛岡市で整備が予定されている球場とほぼ同じ規模である。二万人規模の球場は必要なのか、プロ野球は年何回来るのか等、整備に否定的な意見もあるが、野球だけでなくいろいろな使い方を学ぶことが出来たし、考えるべきだと思う。何よりも、子どもたちに夢を与えることが出来ると思うから。</li> <li>・スポーツの振興、スポーツを通じた地域の活性化を考える時、施設整備は大きな要素になる。財政的は問題があり、全てをすぐにというわけにはいかないが、市の努力は当然であるが、県との協力、広域での連携も含め方策を探っていくべきである。岩手国体のレガシーを守っていくためにも。</li> <li>・巨人軍の選手が、球場でキャンプをしている姿を見て、胸がわくわくした。普段接することが無いからかもしれないが、これがスポーツの力だと感じた。</li> </ul>
【添付資料】	有り

**盛友会 会派視察 日程表 (31.1.30~2.1)**

**【1月30日(水)】 8:30盛岡駅南口待合室集合**

盛 岡 駅 ( 8:50 ) —— (はやぶさ10号) —— ( 9:29 ) 仙 台 駅  
 仙 台 駅 ( 10:14 ) —— (東北本線等) —— ( 10:42 ) 仙 台 空 港 駅  
 (昼食:各自)  
 仙 台 空 港 ( 11:50 ) —— (ANA1863) —— ( 14:45 ) 那 覇 空 港  
 那 覇 空 港 ( 15:00 ) —— (借り上げバス) —— ( 17:00 ) 宿 泊 先

うるま市議会様(18:00~)  
 ◆うるま市議会との意見交換会

**【1月31日(木)】 10:10ホテルロビー集合**

宿 泊 先 ( 10:10 ) —— (借り上げバス9km) —— ( 10:30 ) う る ま ル シ ェ

うるま市様視察(10:30~11:30) 〒904-2292 うるま市みどり町一丁目1番1号(うるま市役所) 担当および指定管理者から説明  
 ◆うるま市農水産振興戦略拠点施設の概要について(現地説明)  
 〒904-2235 沖縄県うるま市前原183-2

う る ま ル シ ェ ( 12:45 ) —— (借り上げバス10km) —— ( 13:30 ) 学校法人アミークス国際学園

学校法人アミークス国際学園様 視察(13:30~14:30)  
 〒904-2205 沖縄県うるま市字栄野比1212-1 TEL 098-979-4711 FAX 098-979-4712

◆ 学校法人アミークス国際学園の事業概要について  
 教育方針(人材育成や学力向上について独自方針など)について  
 国際化教育や情報教育(ICT活用)などの概要  
 貴校の特色ある事業や教育カリキュラムについて

学校法人アミークス国際学園 ( 14:30 ) —— (借り上げバス35km) —— ( 16:00 ) 宿 泊 先

**【2月1日(金)】 9時10分ロビー集合**

宿 泊 先 ( 9:10 ) —— (タクシー等) —— ( 9:30 ) 沖縄セルラーパーク那覇

那覇市様視察 (9:30~11:00) 那覇市議会事務局 調査法制課 電話:098-862-8194(直通) FAX:098-862-8296

◆プロスポーツの誘致と地域スポーツ振興の取り組みについて  
 ※集合場所:セルラースタジアム事務所(098-857-0889)  
 ※沖縄セルラースタジアム那覇やセルラーパーク(奥武山公園内)で説明および視察  
 (担当:経済観光部観光課・教育委員会市民スポーツ課)  
 ・プロスポーツのキャンプ誘致の体制について  
 ・地域との関わりと地域スポーツ振興策について

沖縄セルラーパーク那覇 —— (タクシー等) —— 那 覇 空 港  
 (昼食:各自)  
 那 覇 空 港 ( 14:20 ) —— (ANA1864便) —— ( 16:45 ) 仙 台 空 港  
 仙 台 空 港 駅 ( 17:23 ) —— (東北本線等) —— ( 17:48 ) 仙 台 駅  
 仙 台 駅 ( 18:54 ) —— (はやぶさ33号) —— ( 19:33 ) 盛 岡 駅

## うるま市：農水産振興戦略拠点施設（うるマルシェ）について

1. 日 時 平成31年1月30日(木) 10:30~11:30
2. 場 所 農水産振興戦略拠点施設（うるマルシェ）
3. 対応者 うるま市経済部農政課 佐次田 秀樹 課長  
うるま市経済部農政課農政係 [REDACTED] 係長  
(一社) プロモーションうるま 中村 薫 代表理事  
(株) ファーマーズ・フォレスト 宮城 健 支配人
4. 視察項目 農水産振興戦略拠点施設（うるマルシェ）の概要について
5. 説明要旨

### (1) うるま市の概要について

- ・平成17年4月1日、旧具志川市・石川市・勝連町・与那城町が合併。
- ・「うるま」という言葉は珊瑚の島という意味で、沖縄の美称。新市が未来へ飛躍することと、美しい沖縄の心を世界に発信する願いが込められている。
- ・面積 87.01 km<sup>2</sup> (県下6位) 人口 118,898人 (県下3位)
- ・沖縄本島の東海岸に位置し、那覇市から約2km
- ・新港地区にバースがあり平成30年30隻の大型クルーズ船が寄港しており、平成31年度は50隻のクルーズ船の機構が予定されている。インバウンドに力を入れており、うるマルシェの「食」もその受け皿としての機能も期待されている。
- ・一次産業就業者の減少、就農者の高齢化の進展。耕作放棄地の増加。今後高齢化に伴う離農に担い手不足を要因とする生産量の減少、耕作放棄地の増加が予想されるなど農業の低下が懸念される。
- ・その一方で農業経営開始年齢45歳未満の農業担い手への国の支援策の効果もあり青年就農給付金受給者は増加傾向にある。販路拡大による所得向上や6次ブランド化による高付加価値化、担い手の確保・育成を通じ第1次産業を活性化していく。
- ・情報発信や生産者と製造者の連携不足、さらにはうるま市産品が買えたり食べれなかったりする場所がないなどの課題を解決するのが「うるま市農業水産業振興戦略拠点施設」愛称「うるマルシェ」である。

### (2) うるま市農業水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」の概要について

- ・平成30年11月1日に開設。10月29日に開催された落成式には盛岡市長も来賓として臨席いただき祝辞を頂くなど交流してきている。
- ・直売所1,790 m<sup>2</sup>、レストラン棟1階が864 m<sup>2</sup>2階が470 m<sup>2</sup>で駐車場が約200台分。指定管理制度を採用しており、指定管理者は(一社) プロモーションうるま。

- ・ 事業費は約27億円で、そのうち約18億円が沖縄振興特別推進交付金。
- ・ 基本理念は「“食”を通じてうるま市を元気にする」—うるま市の経済成長エンジン—としている。
- ・ うるマルシェの収益性を高め、将来的には生産者への還元支援を行ない、生産から消費への好循環を作っていきたい。

◎説明後質疑応答に入った

(主な質疑応答)

菊田議員 沖縄で一番を目指しているとのことだが目標としている指標はあるか。また、インバウンドの受け皿として言語など対応策についてどのように考えているか。更に、耕作放棄地の取り組みについては具体的にどのように考えているか。

<回答>差別化することで誘客をしていきたい。やるからにはNo.1を目指すべき目標として感覚的もの。トイレや肉・魚などの簡単な標記のため英語のみとしたが、ニーズがあるということで中国語等の言語には今後対応する予定。英語と中国語の通訳はスタッフで対応可能である。耕作放棄地再生協議会が取り組んでいるが、うるマルシェとしては販路として支援していく。将来的には新規就農者の支援などにも取り組みたい。

浅沼議員 宇都宮も視察をしたが、地元と連携した取り組みが大切だと考えているがどうか。

<回答>地元との連携は、クラフト作家や工芸品作家と連携した取り組みや、各企業の感謝祭を開催するなど予定しているものもある。地域食材を利用した料理教室なども行っている。

田山議員 参加される生産者はどの程度か。また、推移はどうか。

<回答>徐々に増えていて現在700。市内の生産者に重点を置き、うるま市産の農産物を多く流通できるよう手数料等を含め取り組んでいる。

田山議員 産直の売れ残りの対応は。

<回答>出来るだけ惣菜等の加工やレストランでの活用などに努めている。うるマルシェならではのものもあるので発信していきたい。

田山議員 岩手では冬期間は葉物野菜が採れず産直が品薄になるが、沖縄では気候が温暖で、商品が品薄になる時期もないのでは。

<回答>夏は葉物野菜が少なく、本州とは季節が逆になっている感覚。盛岡市と産地の交流もしていくことで協議を進めている。盛岡のコーナーを設置している。

宮川議員 耕作放棄地の活用の取り組みで、新規就農者への支援の話があったが、継続して営農している農家との支援のバランス等はどうか考えているか。

<回答>耕作放棄地の活用に向け積極的に取り組んでいる農家もある。市の補助制度もある中で公平感の確保の課題等もあるので、その払拭に努めていきたい。

千葉議員 一括交付金で国の補助を受け整備した施設を、指定管理制度で運営していくとのことだが、将来の修繕に向けた準備の考えはどうか。

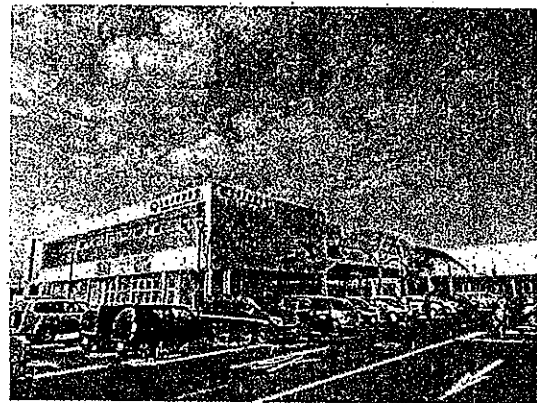
<回答>ほとんどの什器や備品を市が整備しており、イニシャルコストがほとんどない形で運営がスタートしているため、設備の維持管理費を含め指定管理料は支払わないこととしている。50万円以下の改修は指定管理者が行うこととしている。大規模改修に向けては年間400万円を上限に負担金を収めてもらい基金化することとしている。ただし、経営が安定するまでの間は減免するなど柔軟な対応をし、指定管理者としても、一定の黒字を確保し持続可能で自走する仕組みとしたい。

## 5 まとめ

昨年の建設中の視察と11月の宇都宮市の「ろまんちっく村」の視察を踏まえた今回の「うるマルシェ」の視察であったが、施設の企画・設計段階事業に携わり、指定管理者としても参加している「ファーマーズ・フォレスト」の経営手法やノウハウが活かされた施設である。

出荷された地場産品をただ販売するのではなく、マーケティングなどを通じ消費者と生産者をつなぐ取り組みが行き届いており、生鮮品から加工品そしてレストランでの提供と、魅力ある商品提供とロスの減少を両立しつつ収益を拡大していく取り組みが好循環を生み出しつつある。

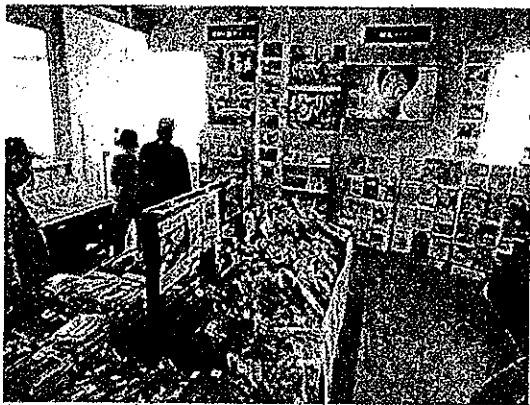
今後の盛岡市で計画している道の駅を整備するうえで、参考にすべき貴重な先進事例である。



①「うるマルシェ」の外観



②視察の様子



③盛岡を紹介するコーナー



④盛岡市物産コーナー



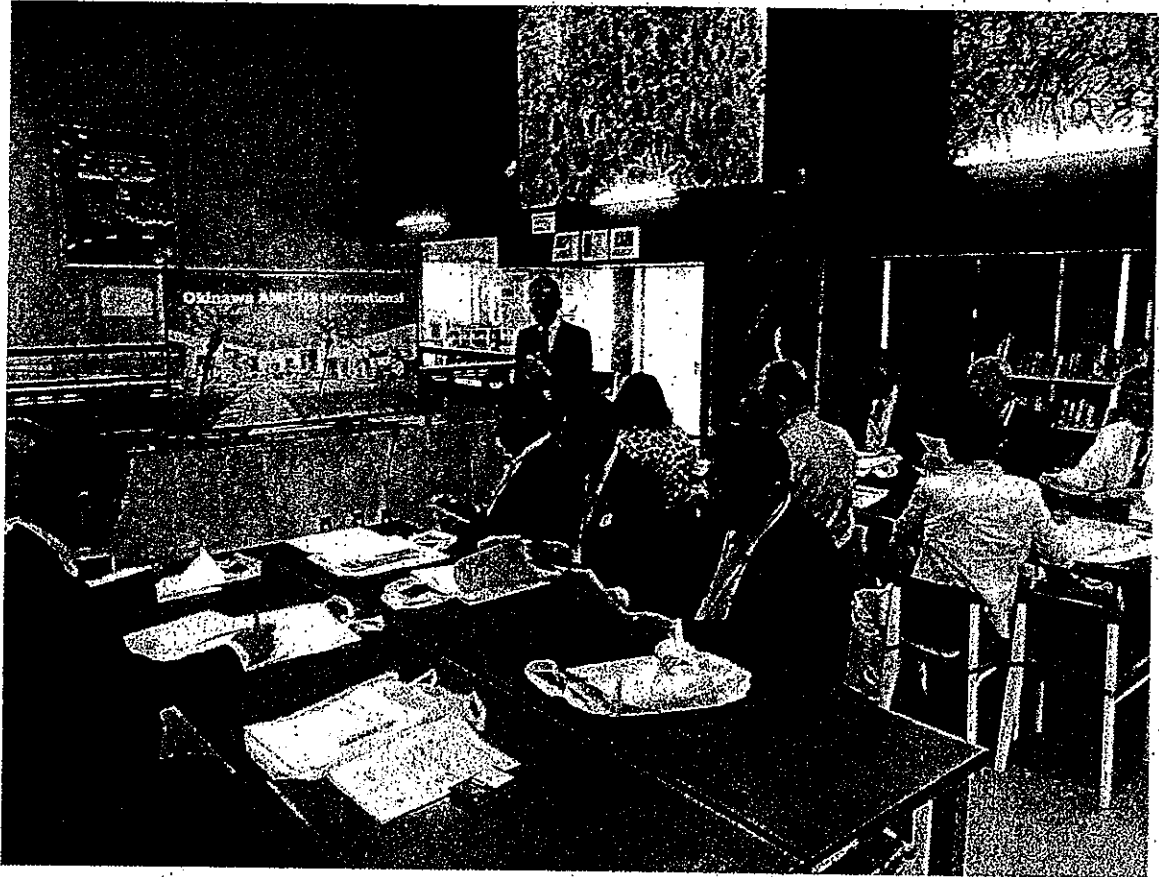
⑤盛岡市物産コーナーⅡ



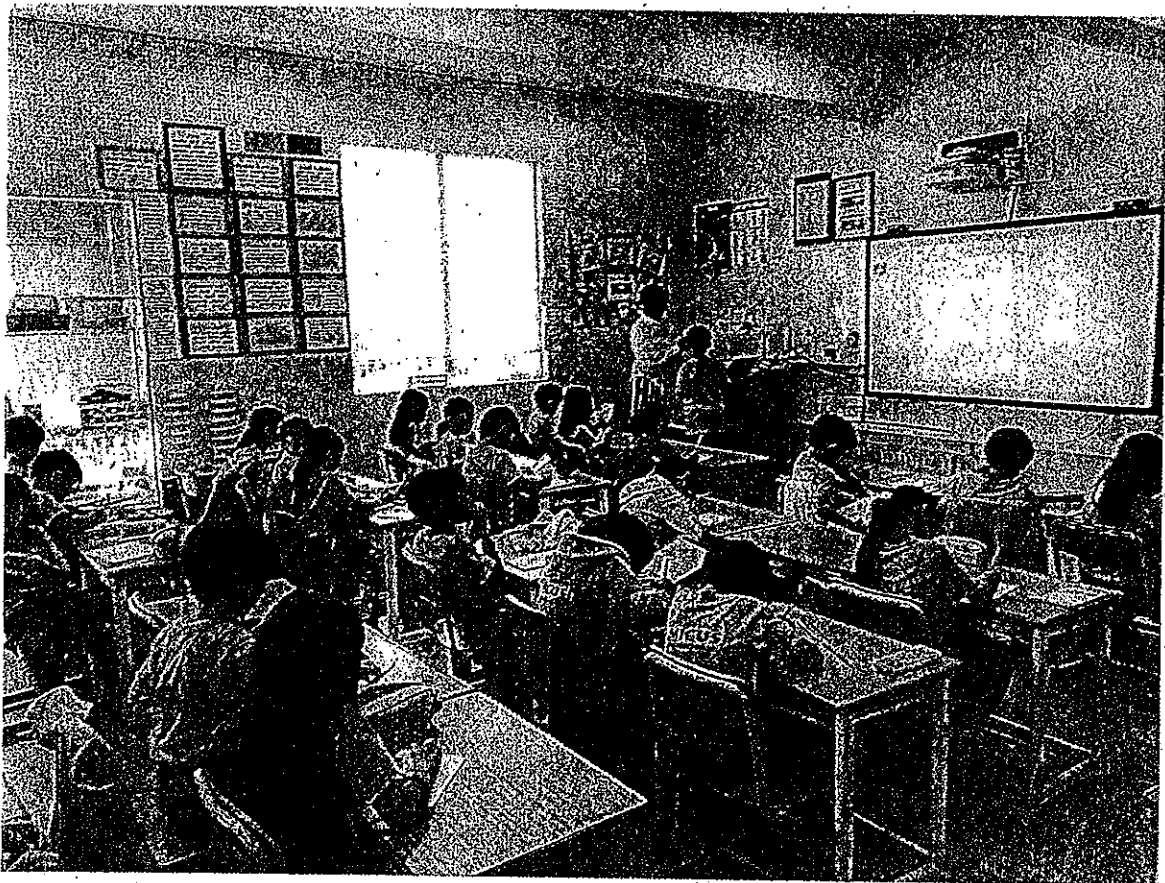
⑥参加者の集合写真

## 学校法人アミークス国際学園：事業概要について

- 1 日時 平成31年1月31日(木) 13:30~14:30
- 2 場所 学校法人アミークス国際学園(沖縄県うるま市字栄野比1212-1)  
沖縄アミークスインターナショナル幼稚園・小学校・中学校
- 3 対応者 安居 長敏 校長 他職員から説明
- 4 視察内容
  - 1 教育方針(人材育成や学力向上について独自方針など)について
  - 2 国際化教育や情報教育(ICT活用)などの概要
  - 3 特色ある事業や教育カリキュラムについて
- 5 説明内容:
  - 1 教育理念  
自分で考え、学び、行動し、自分の将来を自分で切り開く「自立した子ども」を育てる  
→幼小中の11年間を貫くカリキュラムを用意。それぞれの発達段階に応じた4つのステージで学ぶことができる。
  - 2 生徒数  
幼稚園 59名、小学校 422名、中学校 102名、計 583  
自立実現をサポートする幼小中一貫教育を実施
  - 3 教育の特色
    - 文科省の教育特例校として認可を受けており、国語・社会の一部以外の全ての授業を英語で行う英語イマージュ教育を実施。
    - 英語の授業も小学校から行き、小学校卒業時に全員が英検準2級を取得しているレベルを目指す。中学校3年では1年間をかけて自らの興味関心のあるテーマに則したプロジェクトに取り組む。
    - アメリカ、オーストラリア、カナダ、ケニア、ジャマイカ、台湾、日本、韓国など 14か国から65名の教員が教鞭を取っている。
  - 4 ICT(情報通信技術)を活用した教育
    - 1年生からタブレットやパソコン、学習用のウェブサイトのツールの使い方を学び、デジタル・シチズンとしての力を伸ばす。
    - 1年生から3年生では週に1度のICT授業があり他科目での使い方を学ぶ。4年生からはより本格的に、7年生からはこれらのスキルがテクニカルアーツの科目の中でさらに磨かれる。
    - 1人1台ノートパソコンが貸与され、日々の学習の中で活用されている。



安居校長から説明



授業の様子を見学



## 那覇市：プロスポーツの誘致と地域スポーツ振興の取り組みについて

- 1 日時 平成31年2月1日(金) 9:15~10:30
- 2 場所 沖縄県那覇市 沖縄セルラーパーク那覇
- 3 対応者 那覇市教育委員会 生涯学習部市民スポーツ課 ████████氏  
那覇市観光協会 参事兼総務課長 池村博之氏  
(一社)プロモーションうるま 中村 薫 代表理事  
那覇市体育協会 奥武山体育施設長 内原伸彦氏

4 視察項目 プロスポーツの誘致と地域スポーツ振興の取り組みについて

### 5 説明要旨

#### (1) 野球場周辺整備について

- ・奥武山運動公園に隣接する那覇軍港施設により、防衛施設庁の「街づくり支援事業」(補助率3/4)を活用し、約68.5億円で、野球場(収容人員:内野スタンド15,000席、外野スタンド芝生5,000席)、屋内練習場(アイーナ人工芝:57m×66m)、トレーニング室等を整備した。H22年3月完成。H22年からネーミングライツを年間約2,000万円で契約。指定管理を体育協会に年間8,100万円で契約。ちなみに修繕費は年間約400万円かかる。

#### (2) プロスポーツのキャンプ誘致について

- ・野球場完成を見据え、H18年に観光課の職員1名をプロ野球キャンプ誘致担当として任命、H19年に翁長那覇市長が読売巨人軍に正式要請、H22に読売巨人軍が那覇キャンプの開催を発表した。H30年度予算ベースで、キャンプ受入に係る施設環境整備費は約4,600万円、その内訳としてキャンプにぎわい創出に係る経費は約2,100万円となっている。H29年度のキャンプ実施による観客数及び経済効果は、3軍が12日間で5,870人、1軍が11日間で98,548人であり、経済効果21億8,000万円であった。

#### (3) 地域スポーツ活用状況について

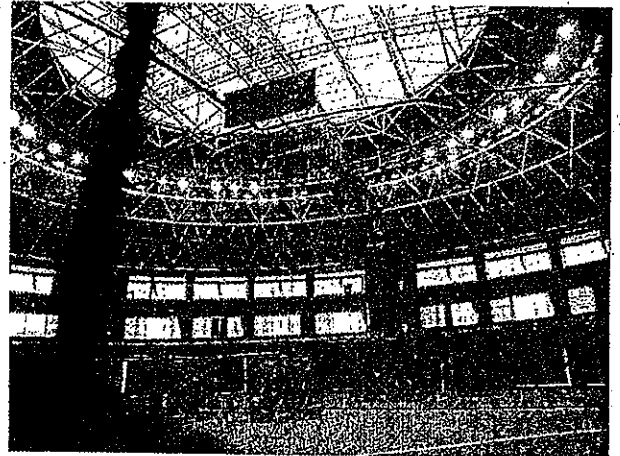
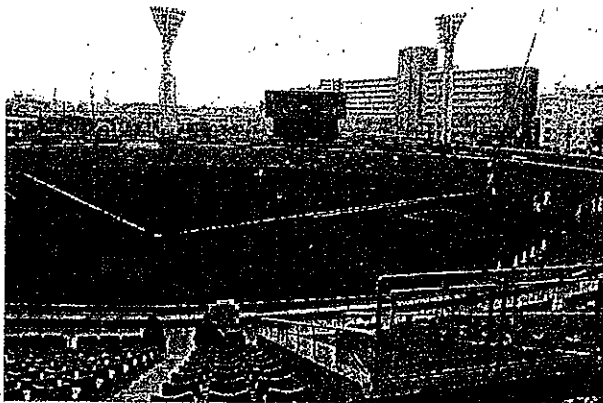
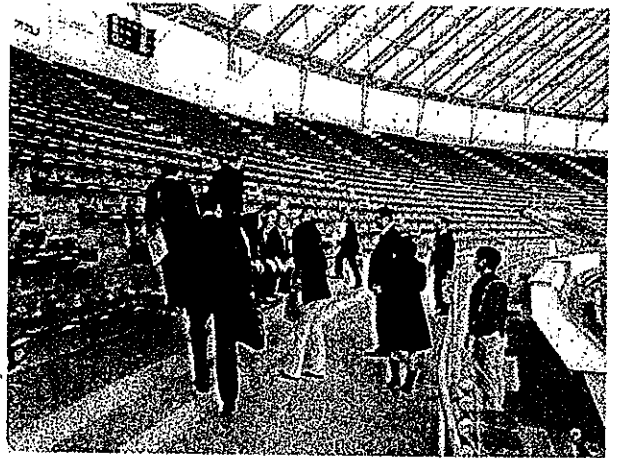
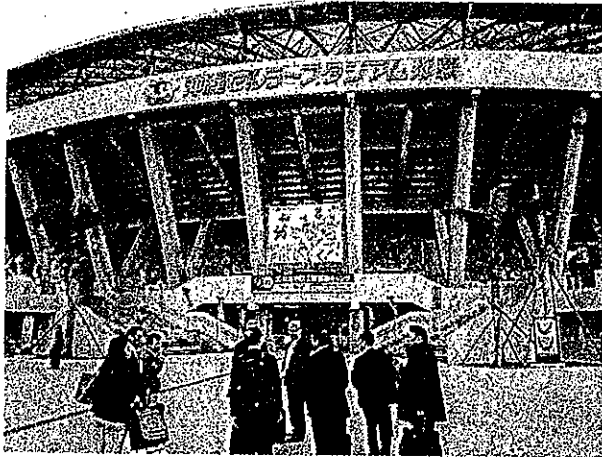
- ・那覇市体育協会が3施設を一体的に管理しており、施設利用登録団体数は679団体で、稼働率は野球場で86%、屋内練習場で75%となっている。施設利用者数も伸びており、H28年度が約43万人に対し、H29年度が約65万人であった。その理由としてH29年度は「花と食フェスティバル」があり、約21万人が屋内練習場を利用したためである。各年によって様々なイベントがあり、利用者数はその影響を大きく受けるが、地元の保育園や高齢者団体でも多数利用されている。

### 5 まとめ

プロ野球の選手が合宿することで、地域経済に大きな波及効果があるし、読売巨人軍の1軍が来ることで、野球場のネームバリューも上がる。合宿は冬季のみで、4~11月は地域のスポーツ団体が利用することで、棲み分けができていると感じた。特に屋内練習場はイベントやレクリエーションとして地域で

活用されており、重宝されているようである。

盛岡市で整備予定の野球場とほぼ同規模であることから、盛岡市においても如何にして高い利用率を達成するのか。如何にして高い経済効果がある利用を促すのか。これらを野球場の整備計画段階から考えていかなければならないことが、参考になった。盛岡市では冬期間は雪のため利用できないと思われるが、その分、屋内練習場の利用は高いだろうから、十分な広さと高さがあることで多様な目的に利用できると、那覇市の屋内練習場を見学して強く感じた。



政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
H30.10.15	3,600 円	平成30年度農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金	
H31.1.16	9,000 円	平成30年度市政調査会拠出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	12,600 円		

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	平成30年10月15日
------	-----	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	3,600	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	3,600 /	円

【支払概要】

平成30年度農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 書

宮 川 寿 様

金 3, 6 0 0 円 也

平成30年度農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金として、上記のとおり受領しました。

平成30年10月15日

農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会

会長 藤 澤 由 蔵



政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	平成31年1月16日
支出証拠書類の額面金額	9,000 円		
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額	9,000 / 円		
【支払概要】 平成30年度市政調査会拠出金			
領収書等添付欄 <input type="checkbox"/> 別紙に添付			

領 収 書


宮 川 寿 様

一金 9,000円 也

平成30年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。

平成31年1月16日

盛岡市市政調査会 会長 菊田 隆



## 政務活動費支出簿

使途項目	広報費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘要	備考
H30.4.16	27,230 / 円	議会報告郵送費(3月定例会)(82円×203、72円×147)	
H30.4.17	12,417 / 円	議会報告ポスティング代(3月定例会)(6.5円×1,769)	
H30.4.23	16,200 / 円	CMS使用料(3月分)	
H30.5.23	16,200 / 円	CMS使用料(4月分)	
H30.6.23	16,200 / 円	CMS使用料(5月分)	
H30.7.13	12,418 / 円	議会報告ポスティング代(6月定例会)(6.5円×1,769)	
H30.7.17	26,532 / 円	議会報告郵送費(6月定例会)(82円×198、72円×143)	
H30.7.23	16,200 / 円	CMS使用料(6月分)	
H30.8.23	16,200 / 円	CMS使用料(7月分)	
H30.9.25	16,200 / 円	CMS使用料(8月分)	
H30.10.16	12,418 / 円	議会報告ポスティング代(9月定例会)(6.5円×1,769)	
H30.10.16	26,532 / 円	議会報告郵送費(9月定例会)(82円×198、72円×143)	
H30.10.23	16,200 / 円	CMS使用料(9月分)	
H30.11.26	16,200 / 円	CMS使用料(10月分)	
H30.12.25	16,200 / 円	CMS使用料(11月分)	
H30.12.27	12,417 / 円	議会報告ポスティング代(12月定例会)(6.5円×1,769)	
H31.1.7	26,460 / 円	議会報告郵送費(12月定例会)(82円×198、72円×142)	
H31.1.23	16,200 / 円	CMS使用料(12月分)	
H31.2.25	16,200 / 円	CMS使用料(1月分)	
H31.3.25	15,570 / 円	CMS使用料(2月分)	
合計	350,194 / 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年4月16日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	27,230	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	27,230	円
<b>【支払概要】</b> 議会報告郵送費 (3月定例会) (82円×203、72円×147)		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

**領収書**  
毎度ありがとうございます

宮川 寿 様

[別納引受] 第一種定形 @82	203通	11.5g ¥16,646
小計		¥16,646
区内特別基 (定) @72	147通	11.5g ¥10,584
小計		¥10,584
郵便物引受合計通数	350通	
課税計		¥27,230
(内消費税等 非課税計		¥2,017) ¥0
<b>合計</b>		<b>¥27,230</b>
お預り金額		¥27,230

印紙税申告納  
付につき麴町  
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時：2018年 4月16日 14:14  
担当：[REDACTED]  
発行No. 180416A1879 端N25箱02  
連絡先：盛岡青山町郵便局  
TEL: 019-647-1988

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年4月17日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	12,417	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	12,417	円

【支払概要】  
 議会報告ポスティング代 (3月定例会)  
 (6.5円×1769)

領収書等添付欄  別紙に添付

領 収 証

No 020361

平成30年4月17日

宮川 寿 様

金額

712,417

収入印紙

上記の通り正に領収致しました。

内 訳 1769部×65円

現 金

小 切 手 /

但

4/17ポスティング代として

消費税額等( )%



株式会社 アオバヤ アドポス事業 (株) 株式会社

- [盛岡センター] 〒020-0866 盛岡市本宮2-37-6
- [山形センター] 〒990-0813 山形市松町3-8-34
- [仙台北センター] 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈2-7-7
- [仙台南センター] 〒981-1106 名取市増田字柳田240 101
- [福島センター] 〒960-8165 福島市吉倉字吉田120-1
- [郡山センター] 〒963-0107 郡山市安積3-120
- [宇都宮センター] 〒321-0932 宇都宮市平松本町362-6 101号
- [いわきセンター] 〒970-8022 いわき市平塚字風内71-1
- [水戸センター] 〒310-0913 水戸市貝川町2131-150
- [新潟センター] 〒950-0853 新潟市東区東明2-4-4
- [船橋センター] 〒273-0022 船橋市海神町2-237

- tel.019-656-6171
- tel.023-682-8025
- tel.022-371-1150
- tel.022-383-1253
- tel.024-503-4950
- tel.024-937-5955
- tel.028-610-1537
- tel.0246-35-0633
- tel.029-244-0352
- tel.025-287-1153
- tel.047-495-3116



担当者印



※金額を訂正したものの扱章印のないものは無効です。



政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年4月23日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	16,200	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	16,200	円
<p>【支払概要】</p> <p>CMS使用料（3月分）</p>		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

〒020-0131  
岩手県  
盛岡市  
中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年04月26日  
領収書番号 2476-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
ネット選挙対策室  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町  
Nagatacho GRID  
TEL. 050-6865-5358  
FAX. 03-6893-1425  
電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年04月23日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年03月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200
備考			

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年5月23日
支出証拠書類の額面金額		16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		16,200	円
【支払概要】 CMS使用料 (4月分)			
領収書等添付欄			<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年05月28日  
 領収書番号 2536-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年05月23日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年04月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200
備考			

## 政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年6月23日
支出証拠書類の額面金額		16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		16,200	円
【支払概要】 CMS使用料 (5月分)			
領収書等添付欄		<input checked="" type="checkbox"/>	別紙に添付

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年06月28日  
 領収書番号 2601-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年06月23日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年05月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200

備考

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年7月13日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	12,418	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	12,418	円

【支払概要】

議会報告ポスティング代 (6月定例会)  
(6.5円×1769)

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 証

No 020443

平成30年7月13日

宮川 寿 様

金額

¥12,418

収入印紙

上記の通り正に領収致しました。

内 訳 1769部×6.5

現 金

小 切 手 /

但

ポスティング代として(%)

消費税額等( %)



Aobaya 株式会社 アオバヤ アドポス事業 (株) アオバヤ アドポス

- [盛岡センター] 〒020-0866 盛岡市本宮2-37-6
- [山形センター] 〒990-0813 山形市松町3-8-34
- [仙台北センター] 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈2-7-7
- [仙台南センター] 〒981-1106 名取市増田字柳田240 101
- [福島センター] 〒960-8165 福島市宮倉字吉田120-1
- [郡山センター] 〒963-0107 郡山市安積3-120
- [宇都宮センター] 〒321-0932 宇都宮市平松本町362-6 101号
- [いわきセンター] 〒970-8022 いわき市平塚字風内71-1
- [水戸センター] 〒310-0913 水戸市見川町2131-150
- [新潟センター] 〒950-0853 新潟市東区東明2-4-4
- [船橋センター] 〒273-0022 船橋市海神町2-237

- tel.019-656-5171
- tel.023-682-8024
- tel.022-371-1120
- tel.022-383-1252
- tel.024-503-4950
- tel.024-937-5955
- tel.028-610-1537
- tel.0246-35-0633
- tel.029-244-0352
- tel.025-287-1153
- tel.047-495-3116



担当者印



※金額を訂正したものの扱章印のないものは無効です。

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年7月17日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	26,532	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	26,532	円
<b>【支払概要】</b> 議会報告郵送費 (6月定例会) (82円×198、72円×143)		

領収書等添付欄  別紙に添付

領収書  
 毎度ありがとうございます  
 佐川 井 様

[別納引受] 第一種定形 @82	12.0g ¥16,236
198通	¥16,236
小計	¥16,236
区内特別基 (定) @72	12.0g ¥10,296
143通	¥10,296
小計	¥10,296
郵便物引受合計通数 課税計 (内消費税等 非課税計)	341通 ¥26,532 ¥1,965 ¥0

合計  
お預り金額  
おつり

¥26,532  
¥30,002  
¥3,470

印紙税申告納  
付につき麴町  
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社  
 東京都千代田区霞が関1-3-2  
 取扱日時：2018年7月17日 10:15  
 担当：[Redacted]  
 発行No. 180717A4737 端N25箱02  
 連絡先：盛岡青山町郵便局  
 TEL: 019-647-1988



## 政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年7月23日
支出証拠書類の額面金額		16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		16,200	円
【支払概要】 CMS使用料 (6月分)			
領収書等添付欄			<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年07月26日  
 領収書番号 2659-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年07月23日
お支払方法	口座振替 SMBGファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額(税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年06月	15,000
			小計 15,000
			消費税額 1,200
			合計(税込) 16,200

備考

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年8月23日
支出証拠書類の額面金額	16,200 円		
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額	16,200 円		
<b>【支払概要】</b> CMS使用料 (7月分)			
領収書等添付欄		<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付	

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年08月28日  
 領収書番号 2715-2-7847

宮川 寿様



振替日	2018年08月23日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年07月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200
備考			

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年9月25日
支出証拠書類の額面金額			16,200 円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額			16,200 円
<b>【支払概要】</b> CMS使用料 (8月分)			
領収書等添付欄			<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年09月28日  
 領収書番号 2773-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町3-3  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年09月25日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥.	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年08月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200

備考

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年10月16日
支出証拠書類の額面金額		12,418	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		12,418	円
【支払概要】 議会報告ポスティング代 (9月定例会) (6.5円×1769)			
領収書等添付欄		<input type="checkbox"/> 別紙に添付	

領 収 証

№ 020504  
平成30年10月16日

宮川 寿 様

金額 ￥12,418

上記の通り正に領収致しました。

内訳 6.5×1769  
現金  
小切手

消費税額等 ( % )

株式会社 アオバヤ アドポス事業 (株) 印  
Aobaya

<input checked="" type="checkbox"/> (盛岡センター) 〒020-0866 盛岡市本宮2-37-6	tel.019-656-5177
<input type="checkbox"/> (山形センター) 〒990-0813 山形市松町3-8-34	tel.023-682-6034
<input type="checkbox"/> (仙台北センター) 〒981-3121 仙台市泉区上谷洲2-7-7	tel.022-971-1159
<input type="checkbox"/> (仙台南センター) 〒981-1106 名取市増田字柳田240-101	tel.022-383-1152
<input type="checkbox"/> (福島センター) 〒960-8165 福島市吉倉字吉田120-1	tel.024-503-4950
<input type="checkbox"/> (郡山センター) 〒963-0107 郡山市安積3-120	tel.024-937-5955
<input type="checkbox"/> (宇都宮センター) 〒321-0932 宇都宮市平松本町362-6 101号	tel.028-610-1537
<input type="checkbox"/> (いわきセンター) 〒970-8022 いわき市平塩字風内71-1	tel.0246-35-0633
<input type="checkbox"/> (水戸センター) 〒310-0913 水戸市貝川町2131-150	tel.029-244-0352
<input type="checkbox"/> (新潟センター) 〒950-0853 新潟市東区東明2-4-4	tel.025-287-1153
<input type="checkbox"/> (船橋センター) 〒273-0022 船橋市海神町2-237	tel.047-495-3116

担当者印

※金額を訂正したものの扱着印のないものは無効です。

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年10月16日
------	-----	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	26,532	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	26,532	円

【支払概要】

議会報告郵送費 (9月定例会)  
 (82円×198、72円×143)

領収書等添付欄  別紙に添付

領収書  
 宮川 寿 様

[別納引受]  
 第一種定形 11.5g  
 082 198通 ¥16,236  
 -----  
 小計 ¥16,236  
 -----  
 区内特別基 (定) 12.0g  
 072 143通 ¥10,296  
 -----  
 小計 ¥10,296  
 -----  
 郵便物引受合計通数 341通  
 課税計 ¥26,532  
 (内消費税等 ¥1,965)  
 非課税計 ¥0  
 -----  
 合計 ¥26,532  
 お預り金額 ¥30,532  
 おつり ¥4,000



〒100-8792 日本郵便株式会社  
 東京都千代田区大手町2-3-1  
 取扱日時：2018年10月16日 16:53  
 担当：[REDACTED]  
 発行No. 181016A7538 端N25箱02  
 連絡先：盛岡青山町郵便局  
 TEL:019-647-1988



政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年10月23日
------	-----	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	16,200	円
<p>【支払概要】</p> <p>CMS使用料 (9月分)</p>		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年10月26日  
 領収書番号 2830-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年10月23日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年09月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200
備考			

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年11月26日
支出証拠書類の額面金額			16,200 円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額			16,200 円
<p>【支払概要】</p> <p>CMS使用料 (10月分)</p>			
領収書等添付欄			<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年11月29日  
 領収書番号 2886-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町3-3  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年11月26日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年10月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200

備考

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年12月25日
------	-----	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	16,200	円

【支払概要】

CMS使用料 (11月分)

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2018年12月28日  
 領収書番号 2942-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2018年12月25日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年11月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200

備考

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成30年12月27日
------	-----	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	12,417	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	12,417	円

【支払概要】

議会報告ポスティング代 (12月定例会)  
(6.5円×1769)

領収書等添付欄  別紙に添付

領 収 証

No 020322

平成30年12月27日

厚川 秀 様

金額

¥12,417

収入印紙

上記の通り正に領収致しました。

内訳  
 現金 12,417 - 650  
 小切手 /

但  
 1/8 委託料とシ

消費税額等 ( ) %



Aobaya

株式会社 アオバヤ アドポス事業 (社株)

- 盛岡センター T020-0866 盛岡市本宮2-37-6
- 山形センター T990-0813 山形市桜町3-8-34
- 仙台北センター T981-3121 仙台市泉区上谷洲2-7-7
- 仙台南センター T981-1108 名取市増田字柳田240-101
- 福島センター T960-8165 福島市吉倉字吉田120-1
- 郡山センター T963-0107 郡山市安積3-120
- 宇都宮センター T921-0932 宇都宮市平松本町362-6 101号
- いわきセンター T970-8022 いわき市平塚字風内71-1
- 水戸センター T310-0913 水戸市見川町2131-150
- 新潟センター T950-0853 新潟市東区東明2-4-4
- 船橋センター T273-0022 船橋市海神町2-237

- tel.019-656-8171
- tel.023-682-8074
- tel.022-371-1052
- tel.022-383-1052
- tel.024-503-4930
- tel.024-937-5955
- tel.026-610-1537
- tel.0246-35-0633
- tel.029-244-0352
- tel.025-287-1153
- tel.047-495-3116



担当者印



※金額を訂正したものの扱印のないものは無効です。

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成31年1月7日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	26,460	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	26,460	円

【支払概要】

議会報告郵送費 (12月定例会)  
(82円×198、72円×142)

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

宮川 勇 様

[別納引受]	
区内特別基 (定) @72	11.5g 142通 ¥10,224
小計	¥10,224
第一種定形 @82	11.5g 198通 ¥16,236
小計	¥16,236
郵便物引受合計通数	340通
課税計	¥26,460
(内消費税等)	¥1,960
非課税計	¥0
合計	¥26,460
お預り金額	¥30,000
おつり	¥3,540



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時: 2019年1月7日 11:09  
担当: [REDACTED]  
発行No. 190107A0147 端N25箱02  
連絡先: 盛岡青山町郵便局  
TEL: 019-647-1988



政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成31年1月23日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	16,200	円
<b>【支払概要】</b> CMS使用料 (12月分)		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

〒020-0131  
岩手県  
盛岡市  
中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2019年01月28日  
領収書番号 2996-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
ネット選挙対策室  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町3-3  
Nagatacho GRID  
TEL. 050-6865-5358  
FAX. 03-6893-1425  
電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2019年01月23日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2018年12月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200

備考

--

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成31年2月25日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	16,200	円
<b>【支払概要】</b> CMS使用料 (1月分)		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

〒020-0131  
岩手県  
盛岡市  
中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2019年02月28日  
領収書番号 3053-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
ネット選挙対策室  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町3-3  
Nagatacho GRID  
TEL. 050-6865-5358  
FAX. 03-6893-1425  
電話受付 平日10:00~18:00



振替日	2019年02月25日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2019年01月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200

備考
----

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	平成31年3月25日
支出証拠書類の額面金額		16,200	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		15,570	円
<p>【支払概要】</p> <p>CMS使用料 (2月分)</p>			
領収書等添付欄			<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付

〒020-0131  
 岩手県  
 盛岡市  
 中堤町29-36

# 口座振替領収書

領収書発行日付 2019年03月28日  
 領収書番号 3103-2-7847

宮川 寿様



株式会社ガイアックス  
 ネット選挙対策室  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町3-3  
 Nagatacho GRID  
 TEL. 050-6865-5358  
 FAX. 03-6893-1425  
 電話受付 平日10:00~18:00



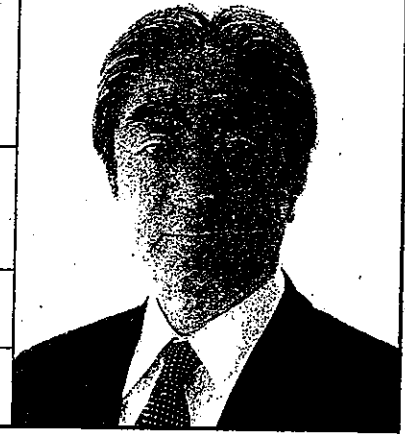
振替日	2019年03月25日
お支払方法	口座振替 SMBCファイナンスサービス(株) 領収分

領収金額 (税込)	
¥	16,200

下記御請求内容につきまして口座振替により領収いたしました

サービス名	商品名	利用月	金額
議員広報	CMS利用料	2019年02月	15,000
小計			15,000
消費税額			1,200
合計(税込)			16,200
備考			

# 宮川ひさし議会報告



発行日：2018年4月9日

N029

発行者：宮川ひさし

連絡先：盛岡市盛岡駅西通2丁目16-31

電話 019-623-1011

自宅：盛岡市中堤町29-36

電話 019-641-4777

## 平成30年度当初予算決まる

## 3月定例会報告

平成30年3月定例会は、2月22日から3月27日まで開催されました。定例会には、平成30年度当初予算、特別会計予算をはじめ条例の改正案などが提案され全ての議案が成立しました。また、市長と教育長の挨拶があり、各会派の代表質問も行われました。

当初予算は、「予算審査特別委員会」が設置され、集中審議が行われ、私は特別委員会委員長を務めました。

### 【平成30年度当初予算の概要】

「深めよう絆 活かそう資源 笑顔輝く もりおか創生予算」。盛岡市平成30年度当初予算は、このコンセプトに基づいて編成されました。

予算編成の特徴の一つは、限られた財源を有効に活用するため、新たに総合査定方式によって編成されたことで、「毎年度経常的に支出する経費(経常的経費)」、「他の経費に含まれないもので、市民生活向上に結び付く経費(行政推進経費)」、「総合計画の推進に必要な経費、新規事業や拡充事業に係る経費等(計画推進経費)」以上のように分類し、予算要求及び調整が行われたことです。また、平成28年度決算、平成29年度決算見込みの状況を精査するとともに、市民や現場の声を活かし、市民視点とコスト意識を持ち、主体的に事業の見直しや改善をしたことも、特徴の一つです。

【一般会計】1. 106億4,000万円

人件費は減額の見込みとなったが、扶助費が伸びる見込みであることなどから、前年度当初予算と比較して、7億749万8千円(1.2%)の増となった。

【重点的に取組む施策(戦略プロジェクト)】

●「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト

2億4,472万9千円 盛岡市の農畜産物などの地域資源を生かした取組みを進めるとともに、食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組みにより産業振興を図る。

●みんなが支える子ども・子育て応援プロジェクト

22億2,457万9千円 若い子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、様々な保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実する。

●2020あつまる・つながるまちプロジェクト

3億1,807万9千円 スポーツ大会などの各種イベントを契機とした国内外からの訪問客へ「おもてなし」の気持ちで対応するとともに、受入環境を整備することにより、観光客の来盛やMICEの誘致を推進し、盛岡ファンと交流人口を増やし魅力あるまちを実現する。

# 一般質問

## 飼い主のいない猫について

●質問 猫を飼うルールについて

答弁 猫を飼う場合のルールについては、岩手県において「動物の愛護及び管理に関する条例」があり、その中で猫の飼い主が守るべき事項として、室内飼育や不妊去勢手術が努力義務として定められており、同条例の周知も含め、適正な飼育について啓発に努めていきたい。

●質問 動物愛護センター設置に係る今後の方向性について

答弁 市ではこれまで岩手県動物愛護推進協議会に委員として加わるなど、当該センターの調査研究に取組んできた。現在、県と市で動物愛護センター整備検討協議会を設置し、「人と動物が共生する社会の実現」に寄与する拠点施設として、県と共同で設置する方向で検討を進めている。

## 憲法講演会について

●質問 憲法の重要性を市も理解し憲法講演会を開催してきたのではないか

答弁 憲法記念講演会は、憲法の重要性を踏まえ、憲法週間に当たり、憲法に対する市民の関心を高める目的で、昭和53年から開催してきたものである。

●質問 安倍政権が大勝したことが、講演会見送りを検討する要素になったのではとの指摘もあるがどうか

答弁 市が主催する講演会においては、従来から憲法に対する国民の様々な考えや意見があることを踏まえ、毎回、テーマ等を工夫しながら中立の立場で実施してきた。今回の見直しについては、毎年度行っている事務事業の見直しにおいて、40年目の節目を迎えたことや、最近の講演会への参加者数が減少傾向にあること、市内において様々な団体等が主催して類似の事業を開催していることな

どを勘案したうえで、市が主催する講演会については、これまでの毎年開催の見直しを検討したものである。

●質問 憲法講演会を今後も継続して開催すべきではないか

答弁 平成30年度は開催する予定としており、今後の事業のあり方については、市民の皆様のニーズ等も踏まえ引き続き検討していきたい。

## 盛岡ブランドについて

●質問 新しいブランド制度を作る理由は何か。また、これまでの制度の検証は行ったのか

答弁 現行の「盛岡特産品ブランド認証制度」は開始から10年経過し、事業者からの聴き取りの結果、取組みを評価する一方で、認証メモリの明確化や費用負担の軽減、情報発信の強化などの意見があったことから、更なる盛岡ブランド力の向上を図るため、新たな制度を構築することとしたものである。



また、これまでの制度の検証については、事業者からの聴き取りや生産者団体、関係機関等との意見交換を行ったところ、一定の成果をあげていると認識できる一方で、品目が多く同一商品でも付加価値が見出しづらいなど、3つの課題に整理したとことである。

●質問 品目が多く付加価値が出しづらく、手続きが煩雑だった要因は何か。また、どのように解消していくのか

答弁 例えば南部鉄器というブランド認証品では、鉄瓶、茶釜、文鎮、風鈴など、一品ごとに認証



を行った結果、数多くの認証品が生まれただけ、一点物の鉄瓶や茶釜と量産品が同じブランドとして認証されていたことから、その違いが市民に伝わらず、付加価値が見出しづらい状況となったものである。

また、手続きについては、認証期間の満了を4年間としていたことから、品目ごとに更新時期がまちまちとなり、更には認証品目の増加に伴って、事業者にとっては更新手続きが煩雑になったものである。

これらの課題の解消については、同じブランド品でもその違いを明確にするため「盛岡ブランド品」と「盛岡プレミアムブランド品」の2階層として認証を行うこととしたほか、従前の認証基準では判断に迷うことがあったため、その分類や基準を見直すこととしたものである。更には、更新手続きの煩雑さを解消するため、当該年度に認定した商品については、認定期間の終期を4年後の年度末に統一するなどにより、手続きの効率化を図っていく。

●質問 盛岡ブランド推進計画に挙げている課題への対応は、新たな「盛岡ブランド品認証制度」へどの様に活かされるのか

答弁 盛岡ブランド品認証制度は、「地場産業の育成」や「市民の郷土愛の醸成」「盛岡ファンの拡大」などの狙いがあるものと認識していることから、特に、盛岡ブランド認証品をシタイプロモーションの視点に基づき市外へ積極的に情報発信することで、地場産業の振興や盛岡ファンの拡大につながり、効果が発揮できるのではないかと考えており、今後、具体の手法について所管部署と連携し進めていきたい。

東北絆まつりについて

●質問 パレード、イベントや会場周辺のイベント等は決定したのか

答弁 「東北絆まつり2018盛岡」のパレード会場については、市役所前からスタートして、中央通約1.2kmのコースで実施すること

としている。イベント会場については、盛岡城跡公園多目的広場をメイン会場とし、芝生広場やもりおか歴史文化館前広場のほか、盛岡駅前の木伏緑地やバスセンター跡地のsade-B(サイドビー)をサブ会場として、地元商店街などとの連携による関連イベントを予定している。

次に、パレードやイベントの内容については、パレードやステージイベントのプログラム・出演団体、サブ会場でのイベント内容等、詳細については、現在、関係機関や運営事業者と協議を行っており、決定次第お知らせしたい。

●質問 当初予算に1億4,870万円が計上されているが祭りにどう活かされるのか。また、関係する自治体の負担割合はどうか

答弁 平成30年度当初予算の内容については、東北絆まつり実行委員会負担金として計上しているものであり、その費用はイベントの企画・運営や交通輸送・会

場警備・誘導等の経費に充当する予定となっている。

関係する自治体の負担割合については、東北絆まつり実行委員会の予算では、祭りの運営に要する経費については、公的団体からの助成や企業協賛金収入が充当されるほかは開催地が負担することになっている。盛岡市以外の5市は、各祭り団体の派遣費用等を負担することとなっている。

●質問 東北絆まつりインバウンド対策PR事業4,900万円が計上されているがその使途はなにか

答弁 東北絆まつりでは、外国人の来場を想定していることから、チラシや歓迎フラッグ等の印刷物の制作、インフォメーションの設置・運営、案内・誘導看板の設置などにおいて、多言語対応するほか、東北の夏祭りを紹介し、誘客の拡大を図るため、海外のマスコミヤや旅行エージェンツを招聘する業務となっている。

# 議案質疑

■議案第27号 盛岡市総合ターミナル条例の一部を改正する条例

盛岡市総合ターミナル（ユートランド姫神）の改修に伴い、施設の区分及び使用料の額を定めるほか、必要な規定の整備をするもの。

質疑の主な内容は、利用状況、料金改定の根拠と改定後の経営の見込み、配属になつてい地域おこし協力隊の現在の活動状況等についてです。

盛岡市総合ターミナルは、玉山区活性化の中心的な施設であり、条例の改定を契機に更にその役割を果たしていくことが期待されています。

■議案第36号 盛岡市立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

医師の確保により、脳神経外科の診療を行うことができるようになったことから、市立病院の診療

科目に脳神経外科を加えるもの。

質疑の主な内容は、新たな診療科目を加えることによる病院経営に与える影響。神経内科と共に脳神経センターや脳卒中センターを設置する可能性等。また、岩手医科大学附属病院の移転に伴う市立病院の役割についても質問しました。

■平成29年度一般会計補正予算（第5号）市職員の時間外勤務手当等の補正

時間外勤務手当

予算 2億9,721万3千円

補正 1億3,928万1千円

休日勤務手当

予算 816万9千円

補正 280万3千円

退職手当

予算 13億8,815万6千円

補正 2億5,955万3千円

以上が主なもの。時間外勤務や休日勤務について、時間にするかどうか質問しましたが、手持ち資料が無く答弁がされませんでした。

## 予算審査の報告

平成30年度予算を審査する予算

審査特別委員会は、議長を除く37人の議員で構成され、3月15日、16日、19日、20日の4日間開催され、私は委員長を務めました。

予算は、財政的な問題だけではなく、事業推進にも大きく影響しているだけに、慎重に審査されました。

審査では、（仮称）もりおかシティマラソン大会実行委員会負担金、600万円が保留の扱いとなりました。15日の審査の過程で、当局からの説明が不十分だったため、20日の冒頭に再度、説明を受けることになりました。審査の中では、なぜ事前に全員協議会等で事業の説明がなかったのか、3月15日の審査の際に詳細の説明が出来なかった原因について等の質疑がありました。

最終的には了解することになりましたが、十分な説明ができるよう適切な対応を求めるといふ文言を委員長報告に入れました。

## 道路の穴ぼこ修理に3,500万円

平成29年度一般会計補正予算

（第6号）は、最終日の27日に提案され、委員会付託が省略され、可決されました。補正予算のうち、3,500万円は道路の穴ぼこの補修に関するものです。

今年の冬は、寒かったためか、市民から多くの情報や修理の要望が市に寄せられており、市としては可能な限り早く対応することが求められていたものです。

全員協議会で私も質問しましたが、今の処置は応急的なものであり今後の処置も必要になってくると思います。また、作業が急がされていることもあり、作業する方々の安全には十分の注意を払うよう重ねて要望しました。

この情報紙は政務活動費によって作成されています

# 宮川ひさし議会報告



発行日：2018年7月12日

NO30

発行者：宮川ひさし

連絡先：盛岡市盛岡駅西通2丁目16-31

電話 019-623-1011

自宅：盛岡市中堤町29-36

電話 019-641-4777

## 「盛岡市の中学校給食の格差 是正を求める決議」を採択

平成30年6月定例会は、6月8日から6月27日までの会期で開かれました。提案された議案は、平成30年度盛岡市一般会計補正予算（第1号）、条例の一部を改正する条例、請負契約の締結等、追加議案も含めて21件です。議案については27日の最終日に採決が行われ、いずれも賛成全員で採択されました。（なお、提出議案については、ホームページに掲載してあります。）

また、発議案2件と請願1件についても採決が行われ、「盛岡市の中学校給食の格差是正を求める決議」「旧優生保護法下における優生手術の被害者に対する補償及び救済等の早期解決を求める意見書」の2件は採択、「2018年度最低賃金改善と中小企業支援の拡充を求める請願」は不採択となりました。なお、私は、3件すべてに賛成をしました。

一般質問は、一括質問17人、一問一答6人の23人の議員が行い、私は、盛岡市立中学校における完全給食の実施について、通学路における安全の確保についての2つの項目で行いました。議案質疑では、一般会計補正予算（第1号）から、地方創成応援税制（企業版ふるさと納税）を活用した地域再生計画「いにしへの想いを伝える桜の里強化再生プロジェクト」について、市道舗装二次改築事業の2つの項目について行いました。

6月定例会では、盛岡市の中学校給食の格差是正を求める決議が採択されました。現在は、旧都南・玉山地域が完全給食、旧盛岡地域では、11校が選択制給食、3校はミルク給食という格差が長期間にわたり生じていますが、その解消にむけ一歩を踏み出すことができたと考えています。

### 一般質問

盛岡市中学校における完全給食の実施について

■質問 学校給食法に対する所見。

答弁 同法が、昭和29年に「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、かつ国民の食生活の改善に寄与するものであること」に鑑み、学校給食の実施に關し必要な事項を定め、もって学校給食の普及充実に資することを目的に制定されたものである。その後も時代の要請を踏まえつつ幾度か改正され、「適切な栄養の摂取による健康の保持増進」や学校給食を活用した食に関する指導の充実等が学校給食の目標に具体的な項目として加えられたが、議員ご指摘のとおり、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するという法律の精神は、現在も変わっていないとの認識である。

■質問 平成4年の旧都南村との合併の際、行政課題とされた、完

全給食実施校と未実施校との格差が、26年経過した現在も解消されていまいと考えるが如何か。

答弁 市教育委員会では、盛岡市中学校給食検討委員会の検討結果を踏まえ、選択制給食方式の実施により、対象校において生徒全員に完全給食を利用する機会を確保することでこれまでミルク給食であった状況から改善を順次図ってきた。しかし、現在も未実施校が残るなど課題があることから、格差是正には至っていないと認識している。

■質問 選択制給食の実施自体が難しい状況になっているが、教育委員会として受け止めはどうか。

答弁 市教育委員会としては、対象校全校に選択制給食方式の実施が困難になっていることは、大変憂慮すべき状況であると認識している。選択制給食方式の開始から10年が経過し、社会状況等の変化があることを踏まえながら、制度そのものに対する検討を含め

早急に対応する必要があると考えている。

■質問 盛岡地域の全ての中学校での給食提供実施を目指して検討するとされているが、実施方法検討の具体的な中身と今後の見通しは。

答弁 今後の検討においては、検討組織を立ち上げ、現在の選択制給食方式を検証の上、選択制給食方式だけではなく、全員喫食による方式についても検討を行うこととしており、その結果を、平成31年度に策定予定の「第二次学校給食施設整備実施計画」に示していきたい。

■質問 中学校での完全給食の実施は、不公平な状況を解消するだけではなく、戦略プロジェクトの趣旨にも副うものではないか。

答弁 中学校完全給食実施に向けての市の取り組みについては、子どもたちに安全安心な給食を安定的に提供することは、子どもたちの適切な栄養の摂取

による健康の保持増進や、保護者への支援にもつながることから「みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」の趣旨にも副うものと考えている。

市教育委員会としては、中学校給食の現在の在り方について様々な意見を伺いながら、現在の選択制給食方式のほか、全員喫食による方式も含め、実施方法を検討していきたい。

**通学路における安全確保について**

■質問 市内では、通学路に対する情報はどのように共有されているのか。また、経費はどのように計上されているのか。

答弁 通学路に於ける児童生徒の安全確保は、極めて重要であると認識しているため、様々な要望については、道路管理者、警察、学校、保護者、地域の代表等で構成される、盛岡市通学路交通安全推進協議会において実効ある対応策を協議する等、情報共有に努めてきているところである。

■質問 平成24年度の通学路緊急合同点検、大新小学校区における歩道設置要望に対し横断歩道補修が対策となっており、内容がかけ離れていると感じるがどうか。

答弁 歩道設置の要望があった道路は、都市計画道路の計画は定められているが、整備時期が未定であり、当時の「関係機関による対策案の検討会」において、歩道の設置を行わず、横断歩道の補修を対策内容とすることと判断されたものである。なお、当該道路については、地域ボランティアによる登下校の際の、見守り体制の強化も対策内容として盛り込み、平成24年度内に対策を講じたものである。

■質問 盛岡市通学路交通安全プログラムのこれませの具体的な取り組み内容は。

答弁 毎年4月に、各学校からの通学路点検調査の結果を受けて、新たな危険箇所を把握し、6月に可能な限り保護者や自治会等



の参加協力を得ながら、各学校や関係行政機関と合同点検を実施している。この合同点検に基づき、対応策について検討し、通学路交通安全推進会議を開いて協議の上、対策を講じている。30年度は、合同安全点検を7月上旬に行う予定であり、関係行政機関等との情報交換を行うとともに、それ以降も必要に応じ現地調査を行うなど、通学路の安全確保に努めていきたい。

■質問 住民からの要望や意見はどのように対応されているのか。

答弁 市に寄せられた通学路に関する要望や意見は、教育委員会に報告され、通学路交通安全推進会議

において対応策を協議している。

■質問 南青山町と青山町を渡す横断歩道と、その南側、中堤町と南青山町を渡す横断歩道に押しボタンス式信号機の設置要望があるが。

答弁 平成29年度に開催された盛岡西警察署交通規制対策協議会において、要望のある2つの信号機については、交通状況や横断する児童教等を踏まえ、中堤町と南青山町を渡す横断歩道の1か所に集約することとし、公安委員会に上申することとなった。

■質問 教育で発達段階に応じた知識・技能を習得することや、自らを守ることの必要性についてどのように実践されているのか。

答弁 各学校では、正しい歩行の仕方、正しい自転車の乗り方、危険の予測等について学級活動や集会、交通安全教室、外部講師を招いての講話などを通して、発達段階に応じた危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を育成する指導を行っているところである。

特にも小学1年生に対しては、4月当初、教師が子どもと共に下校しながら、実際の通学路で指導するとともに保護者への注意喚起など、家庭に協力を働きかけている。

■質問 通学路合同点検の期間箇所、過去に対応予定、未定の箇所対策状況が分かる様な公表はできないか。

答弁 議員ご指摘の通り、現在は、毎年度毎の点検による、新たな危険箇所への対策実施状況の結果の公表となっており、過去の対策予定や未定箇所の対応状況はわからないことから、今後は過去の点検箇所の対策結果も公表する。

■質問 大新町と中堤町の境の通学路の舗装が全面に行き渡っておらず道路の端に段差ができ危険である。

答弁 路面損傷もあり、歩行者が歩行しにくい状況であることから、舗装補修等の対策を実施する。

■質問 市内通学路全体にカラー塗装を実施してほしいがどうか。

答弁 市内通学路で、路面シート・カラー塗装が実施されている箇所は、路面シートについて山王小学校などで学校関係者により実施している事例がある。通学路を対象としたカラー塗装は行っていない。

市内の通学路全体へのカラー塗装については、線状であっても通常の白線に比べ著しく費用がかかることなどの課題があるが、全国的には歩道がない道路において、通学路であることを明示し車の運転手へ注意を促すため、路側帯にカラー塗装の線を入れるモデル事例もあることから、今後、事故の危険性等必要性の高い箇所への試行的な実施について検討していきたい。

■質問 通学路での冠水被害は。

答弁 グリラ降雨で一定時間通行止めとなった箇所は、氏子橋・深持橋アンダーパスが冠水被害にあった。なお、両施設とも改善策を講じており、それ以来被害は見られない。

この広報誌は政務活動費で作成されています。

### 議案質疑

#### ■地方創成応援税制活用事業

この事業は地方創成応援税制（企業版ふるさと納税）を活用した「いにしへの想いを伝える桜の里強化再生プロジェクト」事業を申請し、国の認定を受けたことから事業化されたもので、農林と福祉連携モデル構築事業と日戸キャンプ場整備事業が主な内容です。

日戸キャンプ場整備事業はトイレの改修を行うもので、サクラパーク姫神の施設整備事業の一環です。私に関心を持ったのは、「農福連携」事業として、農福連携勉強会に関する経費が計上されていたことです。これは、高齢化や後継者不足が進む農業現場と障がいを持つ人や生活困窮者と言われる方々など働く場所がなかなか見つかりにくい福祉の現場が連携することです。今回の事業では、伐採した桜の木を活用して「なめこ」の栽培が予定されています。

今回の事業を通じて、いろいろな経験や教訓を蓄積して、今後の盛岡市における、「農福連携」の端緒が切り拓かれればと考えています。

#### ■市道舗装二次改築事業

この事業は、道路交通の安全確保を図るため、老朽化が進行した道路の舗装を二次改築する事業で、今冬の気候の影響で市内で約4,800個の穴ぼこが発生したことや、この影響でパンク等が230件を越えたことを踏まえ実施されます。

事業の趣旨については、充分に理解出来るものであり、早い時期に改築事業を実施して欲しいと考えています。また、冬季に発生する穴ぼこについては、一般的に発生する空洞によるものとは違い、予測は難しいとのことでしたが、他都市の事例等も参考にして、道路管理のデータベースの構築を求めました。

道路の補修に関しては、ガス管や水道管の埋設工事後の傷みに対する対策が必要なことも付け加えて要望しました。

### 大規模改修工事始まる

#### ■「青山老人福祉センター・青山区活動センター・青山支所大規模改修工事」

「仙北地区活動センター複合化・大規模改修工事」、「中央公民館複合化・大規模改修工事」に係る請負契約の締結に関する議案が可決されたことにより、工事が本格的に始まります。関係する施設は地域における市民活動の拠点としての役割を果たしています。工事期間中は、全館休館となるために、普段利用している地域の皆さんへの影響を最小限にとどめ、地域活動に不便をきたさないように求めました。なお、施設を利用する際は、事前に確認していただきたいと思います。

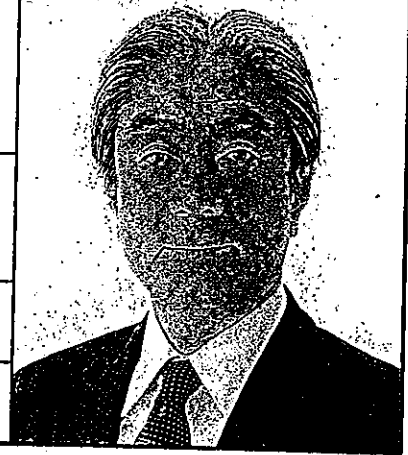
また、盛岡市立厨川中学校屋内運動場大規模改修工事等に係る請負契約の締結についても可決され工事が始まります。こちらは、普段の授業を行いながらの工事となるために、生徒の安全を最優先し、事故の無いよう工事を進める事を求めました。

### 宮川ひさしホームページからのお知らせです

「宮川ひさしホームページ」では、平成30年6月定例会に関する掲載しています。掲載してある主な内容は次の通りです。

- 6月定例会提出議案及び追加議案について
  - 一般質問及び答弁の全文
  - 盛岡市の中学校給食の格差是正を求める決議
  - 旧優生保護法下における優生手術の被害者に対する補償及び救済等の早期解決を求める意見書
  - 2018年度最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願
  - 盛友会会派意見 等
- なお、宮川ひさしホームページへは、「宮川寿」（ひさしでも可）で検索していただくか、盛岡市公式ホームページから、「議員名簿」「宮川寿」ホームページで入ることが出来ます。

# 宮川ひさし議会報告



発行日：2018年10月12日

N031

発行者：宮川ひさし

連絡先：盛岡市盛岡駅西通2丁目16-31

電話 019-623-1011

自宅：盛岡市中堤町29-36

電話 019-641-4777

## 平成29年度決算認定

平成30年9月定例会は、9月3日から9月28日までの会期で開催されました。9月定例会は、決算議会であり平成29年度盛岡市一般会計歳入歳出決算をはじめ、認定案件14件が提案され、関係する常任委員会、本会議で審議されました。また、議案として提案された、平成30年度盛岡市一般会計補正予算(第2号)や条例の一部を改正する条例についても、同様に審査されました。提案された認定案件及び議案は、28日の最終日、本会議で採決されいづれも認定、採択されました。

一般質問・議案質疑も行われ、大阪府北部地震に伴うブロック塀倒壊事故を受け、市が所有する施設、小中学校等の建造物状況調査結果を受け、撤去を行う補正予算や、今夏は猛暑だったこともあり、小中学校へのエアコンの設置を求める質疑が多くありました。

私は、一般質問で、オープンデータについて、マイナンバー制度について、盛岡市学校給食懇話会について質問しました。特に、非公開となっている盛岡市学校給食懇話会については、市民の皆さんの関心も高いことから、公開することを強く求めました。

### 平成29年度歳入歳出決算の全体概要

■歳入総額は、1,108億8,601万9千円で、前年度に比べて21億9,946万8千円、1.9%減少しました。

■歳出総額は、1,092億5,597万6千円で、前年度に比べて2億6,832万2千円、2.0%減少しました。

■歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収

支は、12億657万3千円で、前年度に比べて7,305万8千円減少しました。

■単年度収支は、7,305万8千円の赤字となり、単年度収支に財政調整基金の積立金及び繰上償還金(黒字要素)を加え、財政調整基金の取崩額(赤字要素)を控除した実質単年度収支も、13億6,832万4千円の赤字となりました。

※財政調整基金 不測の収入減や支出増加に対応するための基金

### 一般質問

オープンデータについて

※この質問は、会派で室蘭市を視察し、学んだことを基にしたものです

■質問 オープンデータに取り組む際の市の考え。

答弁 室蘭市と同様、市が保有しているデータは、市民共有の財産との認識の下に、行政の効率化、透明化・信頼性の向上、市民協働

の推進を通じた諸課題の解決等を目的として、オープンデータの取り組みを進めていく。

■質問 オープンデータは市民が利用しやすく日常生活の役立つことを第一に考えるべきでは。

答弁 ご指定の通りオープンデータは、市民の皆様や企業等のニーズが高いものを優先して取り組むべきものと考えていることから、ニーズの把握方法について検討を進め、求められるデータを速やかにオープンデータとして提供できる仕組みを進めて行きたい。

■質問 オープンデータ実施に向けた取り組み及びスケジュール。

答弁 国において、オープンデータに取り組み始める自治体の参考として推奨されたAED設置場所や子育て施設等の14項目のデータセットの中から、公開可能な12項目について公開に向けた作業を進めており、公式ホームページ内にオープンデータポータルサイトを設けることとしている。そ

の後は、GISデータのオープンデータとしての公開や全庁を対象とした研修会等の開催等により取り組みを推進していきたい。

マイナンバーについて

■質問 マイナンバー制度導入によって利便性の向上、手続きの簡素化があったのか。

答弁 情報提供ネットワークシステムを通じて、国・県や他自治体が保有する情報を、取得することができるようになったことから、住民の皆様が申請手続きを行う際に、予め証明書類を準備する必要がなくなるなど手続きが簡素化し、その結果、利便性が向上しているもの認識している。

■質問 市職員の実感はどうか

答弁 窓口等で従事している職員からの聞き取りによると「文書による他の行政機関への照会件数が減少したことにより、事務量が縮減された」という声がある一方で「添付書類による確認に代えて、

情報連携により、情報を取得する事務が増えた」という声も聞いている。今後の見通しとしては、情報連携に対応した事務処理の見直し等により、事務負担も軽減していくと考えている。

■質問 マイナンバー制度に係る市の支出総額、今後の負担見込、国の補助額は。

答弁 平成26年度から29年度決算までの総事業費は、約5億4,762万円となっており、このうち、国庫補助は約3億4,315万円、市負担分は2億4,447万円ですが、このうち交付税措置される分が約4,338万円、特定財源として、マイナンバーカード等の再交付手続き料が約80万円が充てられますので、差引き、当市の負担となる一般財源分は、約1億6,029万円となる。

今後の負担見込及び国庫補助額は、平成30年度歳出予算においては、情報企画課分として約9,23万円、市民登録課分として約5,09

4万円、合わせて約6,017万円を計上しており、このうち、国庫補助額は約5,322万円、マイナンバーカード等の再交付手数料約33万円を差し引いた約662万円が当市の負担となるものが見込んでいます。

■質問 現時点でのマイナンバーカードの岩手県、盛岡市での交付率は。

答弁 岩手県の交付率は7月末現在で10.4%、本市は8月末現在で12.7%である。

■質問 事業所に送付する個人住民税特別徴収税額通知書への個人番号記載に対する市の対応と企業側の反応はどうか。

答弁 個人番号の記載が義務であった平成29年度は、課税資料として事業所から提出された給与支払報告書のうち、正しく個人番号が記載された、約9割の給与支払報告書に対する特別徴収税額通知書には、法律に基づき個人番号を記載したところですが、給与支



払報告書に個人番号の記載が無いものや個人番号に誤りがあったものについては、事業所に個人番号を報告していないなど、納税義務者の意思を尊重する観点から、市独自の対応として個人番号を記載せず、税額通知書を送付した。

事業所からの反応は、いくつかの事業所から個人番号の情報管理が大変であるとの理由により、税額通知書に個人番号を記載しないほしいとの要望が寄せられた。

### 盛岡市学校給食懇話会について

●質問 アンケートの前段に「中学校給食の状況等」が記載されているが、選択制方式の現状は対象校の拡



大に伴い複数業者による体制を追求してきたが、いずれも業務体制や施設

状況等から受託できない旨の回答があり、現段階で現在の委託先以外に給食業務を受託する業者はいない状況であることや、喫食率について、現状を正しく理解していただくためにも記載する必要があったのではないかと。また、給食施設の整備に要する経費が記載され疑問を感じるが教育委員会の所見は。

●答弁 今回のアンケートは、学校給食の実施方法について率直な意見を伺うことを目的としていることから、委託業者の状況や喫食率など、ランチボックス給食の課題については、他の方式の課題と同様に記載しなかったものである。

給食施設の整備に要する経費を記載したことについては、学校給食の今後の在り方を検討するに当たり、給食施設の整備・維持に必要な経費についても理解の上、アンケートに回答をいただく必要があると考えたことから、概算の経費を記載

したものである。

●質問 懇話会の議論や協議内容を明らかにし、市民へ情報提供することや透明性を示すためにも、今後の懇話会は公開とすべき。

●答弁 今回の懇話会の公開又は非公開の決定に当たり、市の「審議会等の会議の公開に関する指針」についての説明が不十分だったと考えている。このことから、次回の懇話会の開催にあたりましては、会議は、原則公開であることや、非公開とする場合の事由など、市の指針の趣旨及び内容について十分説明をした上で、改めて委員の皆様にご検討いただきたいと考えている。

※一般質問については、各項目から質問内容を抜粋して掲載しました。なお、質問、当局答弁の全文については、「宮川ひさしホームページ」に掲載しています。

この広報紙は政務活動費で作成されています

## オープンデータのお知らせ

盛岡市公式ホームページ上に「オープンデータポータルサイト」が開設されました。現在、公開されているオープンデータは次の通りです。

- ◇ AED設置箇所一覧
- ◇ 介護サービス事業所一覧
- ◇ 医療機関一覧（病院・一般診療所・歯科診療所）
- ◇ 文化財一覧
- ◇ イベント一覧
- ◇ 公衆トイレ一覧
- ◇ 公設消火栓一覧
- ◇ 消防水利施設（防火水そう）一覧
- ◇ 指定緊急避難場所一覧
- ◇ 地域・年齢人口別
- ◇ 公共施設一覧（庁舎関係・学校関係・保育園・児童福祉施設・市営住宅・その他施設）
- ◇ 子育て施設一覧（保育園・認定こども園・幼稚園）
- ◇ 観光施設一覧

以上です。一度使ってみてください。

# 境田河原踏切が拡幅されます

境田河原踏切については、幅が狭く車のすれ違いが出来ず、通行に支障をきたしています。また、子どもたちが通学に利用していますが、歩道が整備されていないため危険な状態です。車による事故も発生しており、地域の方々からは改修を求める声があります。

私も、踏切を利用する機会があることから、危険性や改修の必要性について感じており、市議会でも機会あるごとに、踏切の拡幅、踏切への歩道の整備、踏切に通じる道路を整備し交通のスムーズな流れを作る事を求めてきました。

この度、境田河原踏切拡幅事業の概要が明らかになりましたので、おしらせします。なお、これからも市民の皆様の声に耳を傾け、より良い踏切にしていくために活動してきたいと考えています。

## 【計画】

・車道の幅員は、すれ違いできるように6m(3m・2車線)とする。

・歩道の幅員は、車椅子の方がすれ違いできるよう片側(北側)に2mとする。ただし、踏切前後には遮断機を設置することから、遮断機の幅約1mを考慮し、踏切内の歩道幅は3mで考えている。

・北夕顔瀬町側に踏切を渡った場合、すぐに交差点があることか

を設置する。

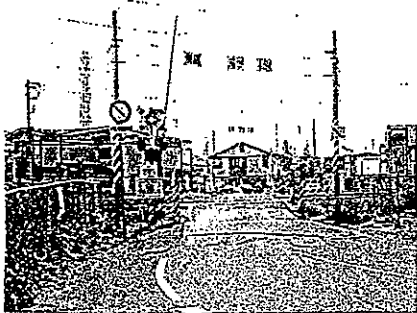
## 【スケジュール】

・平成30年度に最終的な計画を決める詳細設計を行い、最短で平成31年度に用地買収及び踏切前後の道路拡幅工事、平成32年度に踏切拡幅工事の計画を進めているが、拡幅道路予定地内の電柱等の移設、また、線路敷内のケーブル移設等の問題があるため、1年程度期間が延長する可能性がある。

## 【規制方法等】

・踏切前後の道路拡幅工事は、できる限り車両を通しながら進める予定ですが、踏切を拡幅する工事については、踏切を通行止めにしなければ工事ができないこと

から、踏切拡幅工事の際は、概ね1年間の全面通行止めとなる予定。



## ブロック塀が撤去されます

大阪府北部地震に伴うブロック塀倒壊事故を受け、市立の小中学校を点検したところ、建築基準法の現行基準に適合しないブロック塀等が確認されたことから、児童や生徒、通行者の安全確保のため撤去されます。

この問題については、教育福祉常任委員会を取り上げましたが、今回、点検の対称となったのは、ブロック塀が設置されている学校であり、他の学校は該当しないことでした。また、学校だけではなく、通学路についても、同様に、安全を確保することを、教育委員会に求めました。

ブロック塀が撤去されるのは、次の学校です。

- 仁王小学校
- 山岸小学校
- 仙北小学校
- 厨川小学校
- 北厨川小学校
- 下橋中学校
- 河南中学校
- 飯岡中学校

# 宮川ひさし議会報告



発行日：2018年12月26日 NO32 発行者：宮川ひさし

連絡先：盛岡市盛岡駅西通2丁目16-31 電話 019-623-1011

自宅：盛岡市中堤町29-36 電話 019-641-4777

## 市立小学校・中学校・幼稚園の普通教室に 空調設備が整備されます

平成30年12月定例会が、12月21日閉会しました。提出された議案は、平成30年度盛岡市一般会計補正予算(第3号)、条例の改正について、指定管理者の指定について、財産の取得について、議決の変更について等です。追加で提出された、平成30年度一般会計補正予算(第4号)は、盛岡市立小中学校・幼稚園の普通教室に空調設備を整備するためのものです。提出議案は、本会議及び各常任委員会で審査され、最終日の採決で、全てが可決されました。

請願は、「消費税10%への引き上げ中止を求める請願」が提出されました。採決の結果、私は賛成しましたが、賛成少数で否決されました。陳情は2件ありました。特に、「地元の木材を使ったアスレチック建設についての陳情」は、市内の高校生からのものです。高校生からの陳情は、盛岡市議会ではじめてのことです。

一般質問は、24人の議員が行いました。私は、「冬期間における公共交通の通行確保と安全の確保について」「県央ブロックごみ処理施設について」「盛岡市立学校の施設修繕について」の3点について質問しました。議案質疑では、「平成30年度盛岡市立病院事業会計補正予算(第2号)」、「議決の変更について(青山老人福祉センター、青山地区活動センター、青山支所大規模改修)」、「平成30年度盛岡市一般会計補正予算(第3号)食と農のバリエーションアップ推進事業、(盛岡りん)のカナダへの輸出拡大」について質問しました。

### 一般質問

冬期間における公共交通の通行確保と安全確保について

■質問 除排雪作業に最大限の努力をお願いしたい。

答弁 除排雪作業による市道通行の安全等の確保は、冬期間の市民生活に欠かせないものと認識しており、大雪時の市民対応専門窓口の開設や職員除雪隊の結成など、全庁的に取組んでいる。

市道の除排雪作業においては、公共交通機関であるバス路線についても、最も優先して安全な通行を確保していきたい。

■質問 除排雪指定路線の種別区分は除排雪の優先順位か。

答弁 除排雪路線の種別区分は、除雪優先順位としており、バス路線は、すべて第一種指定路線となっている。

■質問 排雪が必要な道路の状態はどのように把握しているのか。その道路状態の把握から排雪作業

実施までの時間はどれほどか。

答弁 主に市民や委託業者から情報提供をいただき、職員による現地確認の上、排雪作業を実施している。排雪作業が行われるまでの時間については、誘導員や排雪ダンプの手配等、現場状況により異なる場合もあるが、作業指示から概ね2〜3日を要している。

●質問 盛岡駅西口、東口、川徳前のバス停の除排雪はどこにお願いしているのか。今冬の対応はどう考えているのか。

答弁 盛岡駅西口と東口の一部、川徳前のバス停には、歩道に融雪装置があるが、路面状況に応じて、西口、東口は岩手県バス協会が、川徳前は株式会社川徳において除排雪の対応をしている。今冬においても、路面状況に応じて、それぞれ担当に除排雪対応をお願いしていきたい。

●質問 盛岡駅東口の誘導員は継続して配置する必要があると考えますが所見はどうか。

答弁 バスターミナルにおいて、歩行者の安全な誘導や、バス車両の優先的な誘導とともに、降雪期における歩行者の転倒等を防ぐため、歩行者横断箇所の除雪等を含め業務委託により実施している。今後においても、年間を通じた歩行者横断箇所の安全確保のため、継続して実施していきたい。

●質問 凍結防止剤を散布するバス路線等の主要交差点、急坂部とはどこか。散布基準はあるのか。

答弁 主要交差点については主に国道との交差点や盛南大橋等の幹線道路の交差点等を、急坂部については主に松園地区幹線や岩山周辺道路を指している。散布基準については、通勤通学の安全確保のため、路面状況やその気象状況等を勘案し、深夜から早朝、又は正午から夕方に散布作業を実施することとしている。

●質問 冬季の事故防止について、状況をどう把握しているのか

答弁 平成29年度に岩手県警察本部から過去3年間の滑走事故発生箇所の情報提供をいただき、凍結防止剤散布箇所の参考としたほか、平成30年度においては凍結防止剤散布委託契約を11月に締結し、シート前に路面凍結に対応してきた。小本踏切から松園方面への道路やサンピルから裁判所への坂道においても、これまで凍結防止剤を散布してきたが、引き続き警察からの事故情報や市民からの情報をいただきながら、きめ細かく対応していきたい。

●質問 冬季間の特に自転車に関する交通事故防止に向けた取り組みはあるのか。市としての考えは。

答弁 「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の事故防止に関する条例」において、自転車等の利用者は、冬期間及び雨天時においては、特にその安全な利用に配慮するものとし、必要に応じ、公共交通機関を利用するよう努めなければならぬと規定している。市では、高校・専門学校における自転車

安全講話や広報を通じ啓発を行っており、盛岡市内バス運営協議会では、新聞やテレビ・ラジオのCMなどで、冬期間のバス利用についてPRを行っている。今後も引き続き、条例を踏まえ、冬期間は自転車を抑え、公共交通を利用いただくよう啓発に取り組む。

●質問 道路の色分けを実施し事故防止につなげてはどうか。

答弁 交通量が多く複数の専用レーンがある交差点などにおいては、交通の流れの円滑化には有効であると考えるが、財源確保などの課題もあることから、他都市の事例等を踏まえ研究していく。

●質問 県央ブロックごみ処理施設について

●質問 県央ブロックごみ処理施設について、現時点での基本的な理念や、どのような施設にするのかの考えは。

答弁 「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」では、循

環型社会形成の推進を目指すため、3Rの推進を図りながら、低炭素社会の実現に寄与することや、環境への負荷を軽減するほか、災害対策が強化された廃棄物処理システムを指すこと、及び効率的な廃棄物処理システムを目指すことを基本方針としており、また、処理施設から回収するエネルギーを有効に活用し、地域振興やまちづくりに貢献することも、重要である。

この考えに基づき、新たなごみ処理施設については、最新の知見と技術に基づき、国内でも最高レベルの安全対策を講じるとともに、地域の皆様との対話を重ね、より多くの方々の御意見をお聴きし、他都市の事例なども参考にしながら、エネルギー供給拠点として、また、地域防災拠点や、環境学習の機会を提供する場として、地域振興やまちづくりに貢献することのできる施設を目指していきたい。

●質問 クリーンセンターで発電された電気が施設にどのように有

効的に使われ、経済的効果と売電による収入はどれだけか。

●質問 通常運転時は、発電した電気を施設内で使用しており、余剰電力については売電している。

施設内で使用した電気を、仮に、電気事業者から購入したと想定した場合の料金は、平成10年4月の稼働開始から平成29年までの総額で約26億8,000万円と試算している。また、この間の売電による収入総額は、約3億4,500万円となっている。

●質問 余熱利用健康増進センター「ゆびあす」のこれまでの利用者数と料金収入はどれだけか。

●質問 クリーンセンター開設以降、見学に訪れた市民の延べ人数は。

●質問 クリーンセンターで発電された電気が施設にどのように有

4,633人、これらを合わせて5万7,929人となっている。

●質問 全国のごみ処理施設で採用されている廃熱を利用した施設は。

●質問 奈良県生駒市におけるごみ処理施設の近隣に学習・文化・レクリエーションの場として整備された「ふれあいセンター」や、栃木県足利市における、ミニトマトを栽培するために設置された温室団地などがある。また、電気を供給している例として、千葉県千葉市における製氷や冷暖房に活用しているアイススケート場など、様々な例がある。

盛岡市立学校の施設修繕について

●質問 平成30年11月末現在の小中学校からの修繕依頼件数は。また、全て年度内に終了できるのか。

●質問 小学校は依頼件数263件に対し対応済みが216件、調

査や経過観察中が47件、中学校は、依頼件数111件に対し、対応済みが73件、調査や経過観察中が38件となっている。

●質問 市立高校野球部のバックネットは、早急に整備すべきでは。

●質問 平成27年度及び28年度で全ての支柱を修繕し、破損したネット一部を交換した。修繕を実施したことにより、倒壊の危険は無いが、バックネットの高さが不足しているため、今後整備について検討していきたい。



# 議案質疑

議案質疑から、「食と農のバリエーション推進事業」についてお知らせします。

食と農のバリエーション推進事業は、異業種連携をベースとした盛岡産農産物の高付加価値化及び販路拡大を目的に、国内外における盛岡の食・農の魅力発信、盛岡産農産物の流通強化支援に取り組んでいるものです。

今回の補正予算の目的は、カナダにおける検疫条件緩和後、商業ベースとして国内初のりんご輸出が決定したこと、いわて中央農協と連携して、盛岡りんごフェア、ピクトリア市長表敬等のイベント実施により、盛岡りんごの輸出拡大を促進しようとするものです。

補正予算の内容  
 ●旅費 409万4千円  
 委託料 370万円

# 空調設備が整備されます

平成30年度盛岡市一般会計補正予算(第4号)では、ブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金が盛り込まれ可決されました。

交付金の目的は、「国の平成30年度一般会計第1次補正予算(ブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金)を活用し、盛岡市立小学校、中学校及び幼稚園の普通教室等の空調設備を整備するものです。

対象教室は870室、保健室・校長室・職員室217室で、交付金対象室数は、普通教室805室です。

総事業費は40億6,865万6千円で内訳は、国庫支出金4億6,199万5千円、地方債35億3,120万円、一般財源は、7,546万1千円となっております。

## 地元の木材を使ったアスレチック建設について

**要旨** 岩手県産木材利用促進条例の制定に合わせ、子どもが遊ぶ施設を充実させることと、木材への興味を持たせるという2つの目的を備えたアスレチックを建設するよう要望する。

**理由** 私達の在籍する岩手県立盛岡第一高等学校は、文部科学省から「スーパグローバルハイスクール」に指定されており、社会の課題についてその解決を目指し探求活動を行っている。その中で、私達の班は子育て支援について、子どもの遊び場に注目して活動している。

昨年は盛岡市子ども未来部や京都市の育成推進課へフィールドワークを行い、今年秋田県立中央公園フィールドアスレチックを実際に見学するなどの調査活動を行っている。

その後、研究の一環として盛岡市立上田小学校と紫波町立日詰小学校の2校の全児童とその保護者にアンケートを取らせて頂いた。その結果、保護者の方から現在の子ども遊び場に対する不満が多いことと、児童の約90%がアスレチックで遊びたいと思っていることが確認された。そのため、私達では、子育てする上で魅力的な街づくりを進めるためにアスレチックの建設を要望する。

また、子育て支援は各自治体で大きな差がなく、独自の色がなかなか出せないのが実情だ。また、今年度岩手県では岩手県産木材利用促進条例が制定される見込みである。そこで、私達は県産木材を有効に活用し、自然豊かな環境の中で子育てをするということを推し進めたい。岩手県、盛岡市独自の子育て支援策を作るために職員の皆さま方にご検討をお願いする。

この陳情は市議会としてはじめて高校生から提出されたもので、他の陳情と同様に、提案者の意見を伺うこととしています。

この広報紙は政務活動費で作成されています。